



北海道

建築家と地域工務店で創るクオリティ・ファーストの住まい

みどり野 ゼロカーボンヴィレッジ

～陽だまりが織りなすコミュニティ～

コンセプト・ルール &

住まいのプラン集

\ これからの住まいのプランを見つけませんか? /

MIDORINO ZERO CARBON VILLAGE

本事業の実施主体

南幌町

北海道住宅供給公社

一般社団法人北海道ビルダーズ協会

公益社団法人日本建築家協会北海道支部

北海道

これからの住まいの プランを見つけませんか？

これからの住まいや暮らし方を可能にする「みどり野ゼロカーボンヴィレッジ」。

都市と田園のバランスがほどよい“緑・農・住のまち”南幌町を舞台に、2050年「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、地域の気候風土に適した脱炭素化対策を講じた住まいとサステイナブルな暮らし、自立しながらも助け合えるようなコミュニティづくりを提案します。

本プロジェクトでは、あらかじめ参加登録をした地域工務店と建築家のグループ（北海道がオススメする住宅事業者「きた住まいるメンバー」）によって、当ヴィレッジのコンセプトおよびルールに基づいた住宅の設計と建設が行われます。

各グループが提案する個性豊かな住宅の基本プランをここに紹介します（プラン集編）。

このまちでの理想の住まいと暮らし、そして一緒に家づくりをするパートナー（グループ）をお探してください。

CONTENTS	コンセプト・ルール 編	02
	プラン集 編	14



建築家と地域工務店で創る
クオリティ・ファーストの住まい **みどり野 ゼロカーボンヴィレッジ**

メインテーマ

陽だまりが織りなす コミュニティ

MIDORINO ZERO CARBON VILLAGE



「みどり野ゼロカーボンヴィレッジ」では、暮らしのクオリティを大切にする“クオリティ・ファースト”を前提に、高い住宅性能を実現する技術力と専門知識をもった地域工務店と建築家が共通ルールのもとコラボレーションによって、南幌町の自然を上手に活用して快適で豊かな暮らしを可能とする住まいを創ります。

メインテーマは“陽だまりが織りなすコミュニティ”。そこに込めたのは、自然の中でも特に太陽の恵みを生かして、個々の住まいがお互いの暮らしを尊重しながら織りなす優しいまちなみ、自立しながらも互いに助け合える柔らかなコミュニティを醸成していこうという想いです。



3つのコンセプト

メインテーマ“陽だまりが織りなすコミュニティ”を実現するための具体的な考え方（基本理念）として、次の3つのコンセプトを提示します。

コンセプト1

“クオリティ・ファースト”の継承

積雪寒冷地に適した住宅技術および空間と生活の質を両立させる“クオリティ・ファースト”を基本コンセプトにした「みどり野きた住まいるヴィレッジ」のデザインルー

ルを「みどり野ゼロカーボンヴィレッジ」にも活用します。それによって、みどり野の質の高いまちなみが拡張するだけでなく、周辺のまちなみへの波及が期待できます。

コンセプト2

サスティナブルな暮らしの実現に向けたゼロカーボン化

北海道が脱炭素化（ゼロカーボン化）のために2023年から推奨する「北方型住宅ZERO」のしくみを活用します。これからの南幌町に適した「北方型住宅ZERO」

として、「みどり野ゼロカーボンヴィレッジ」オリジナルの性能設計によって、サスティナブルな暮らしを実現しようとするものです。

コンセプト3

太陽の恵みをみんなの利益に

ゼロカーボン化に伴い、太陽光発電設備の設置を必須とします。公平に太陽光を活用するため、隣家の太陽光パネルに日影を生じさせないよう効率的な住宅の配置

計画をすすめます。また、常時はもとより非常時においても、太陽の恵みをみんなの利益として共有し助け合えるような、フェイスフリーのコミュニティづくりを提案します。



3つのルール

3つのコンセプトを支えるルールとして、
設計・施工における基準を次の3つの方針で設定します
(必須および任意の項目があります)。

1. しくみ

「みどり野ゼロカーボンヴィレッジ」に建設する住宅の設計および施工（建設）に参加することことのできる事業者をはじめ、事業のしくみに関するルール。

2. 制度・性能

北海道が推進する「北方型住宅ZERO」と「きた住まいる」のしくみを導入して、高次元の性能・仕様を可能にする制度および性能に関するルール。

3. 計画・デザイン

建物の建設範囲や隣地の日射確保、除雪の軽減、良好な景観の保持、豊かな住空間の確保など、計画やデザインに関するルール。

地域工務店と建築家のコラボレート（必須）

3つのコンセプトを確かなものとするため、高い住宅性能を実現する技術力と専門知識をもった地域工務店（建設事業者）と建築家（設計事業者）のコラボレーション（*1）によってのみ、「みどり野ゼロカーボンヴィレッジ」における住宅の建設が可能です。住宅の設計・施工（建設）および関連事項は下記事業フローのもとに行われます。また、参加事業者およびユーザーには一定の協力事項および支援があります。

●事業者募集、選定、グループ結成

参加事業者の募集は北海道が行い、事前選定については、建設事業者を（一社）北海道ビルダーズ協会が、設計事業者を（公社）日本建築家協会（JIA）北海道支部が行います。建設事業者および設計事業者は一組のグループを結成し、設計・施工（建設）を行います。

●基本設計、オーナー募集、契約

グループ毎に設計事業者が建設事業者と連携してルール(2~3)のもとで基本設計(基本プラン)をします。オーナーの募集を行い、オーナーは基本プランの中から選んだプランの設計事業者および建設事業者と契約。土地については北海道住宅供給公社と契約します。

●実施設計

グループは、オーナーの意向に応じた実施設計をします。

●住宅の建設、展示（オープンハウス）、検証

住宅の建設を建設事業者によって行い、引き渡し前にオープンハウスを開催します。竣工後はオーナーが検証（エネルギー使用量）へ協力します。

住宅建設事業者の要件

1. きた住まいるメンバー（*2）であって、BIS-EまたはBIS-M（*3）の資格を取得していること。
2. 本店の所在地が道内（個人の場合は事務所または営業所の所在地が道内）であること。
3. 本事業の趣旨に賛同する事業者で、事業実施要綱に定める要件を満たす住宅を建設できる能力を有するもの。

住宅設計事業者の要件

1. きた住まいるメンバー（*2）であって、BISまたはBIS-M（*3）の資格を取得していること。
2. 本店の所在地が道内（個人の場合は事務所または営業所の所在地が道内）であること。
3. 本事業の趣旨に賛同する事業者で、事業実施要綱に定める要件を満たす住宅を設計できる能力を有するもの。

協力事項および支援内容（参加事業者・オーナー）

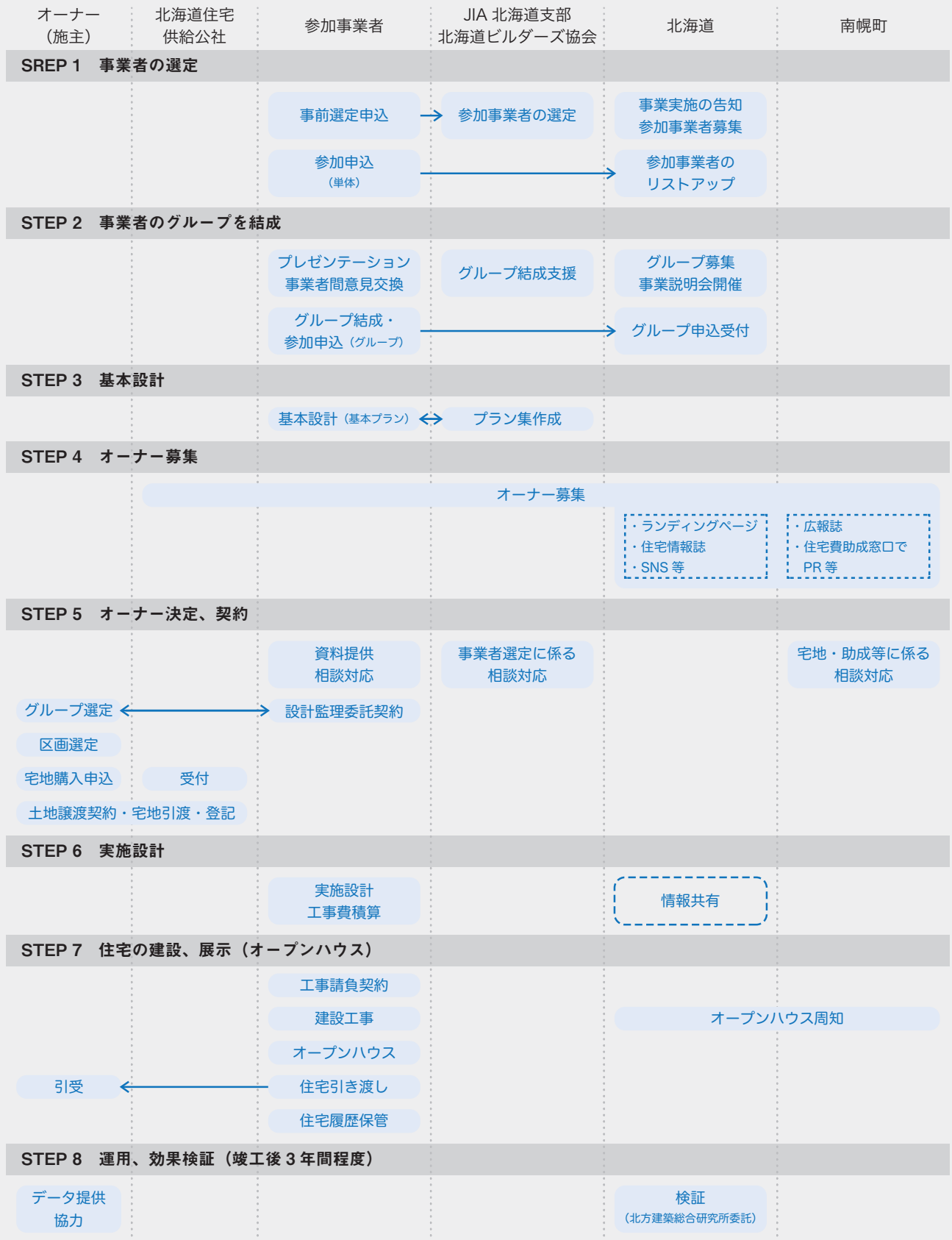
- 協力事項 コンセプトへの賛同とルールの遵守／オープンハウスの開催／広報宣伝活動への協力／エネルギー使用量に関する調査研究への協力
- 支援内容 宅地価格の割引／南幌町子育て世代住宅建築費助成金／オープンハウス等の謝金／基本設計の作成に対する謝金／オーナー募集等の際の参加事業者PR等の広報宣伝 など

*1 関連企業等である工務店と設計事務所によるグループは、コラボレーションになりません

*2 北海道が定めたルール（基本性能の確保、専門技術者の関与、住宅履歴の保管）を守り、安心して良質な家づくりができる住宅事業者（設計者・施工者）として北海道に登録された事業者です

*3 BIS (Building Insulation Specialist)とは、北海道が独自に定めた住宅の断熱・気密に関する専門資格。設計者をBIS、施工者をBIS=E、両方をもつ技術者をBIS=Mとしています

事業フロー



「北方型住宅ZERO」の「南幌モデル」を提案（必須）

「みどり野ゼロカーボンヴェレッジ」では、「北方型住宅」(*4)の最新版である「北方型住宅ZERO」のしくみを活用して、その地域展開となる「南幌モデル」を提案します。

「北方型住宅ZERO」のしくみを活用

「北方型住宅」の最新版であり、北海道が2050年「ゼロカーボン北海道」の実現に寄与する住宅として推奨する「北方型住宅ZERO」は、北方型住宅2020をベースとして、北海道の地域特性を考慮した脱炭素化に資する対策を一定以上採用することにより、住宅で消費されるエネルギーを削減し、CO2排出量を抑えた、家計にも地球にも優しい住宅です。その対策では、CO2排出量の削減効果に応じてポイントが設定されており（下表）、選択した項目（対策内容）のポイントの合計が10ポイント以上になることによって、「北方型住宅ZERO」の性能を有すると認められます。「みどり野ゼロカーボンヴェレッジ」に建設する住宅は、このしくみを活用します。

「南幌モデル」を提案

南幌町は、比較的温暖な気候で、平均的な日射量があり、積雪量が多い地域です。その地域特性に適した「北方型住宅ZERO」に優先されるのは、北方型住宅2020の性能に加えて、開口部の性能強化、壁面に設置する太陽光発電設備とそれに伴う蓄電池設備、木質バイオマスの利用、道産木材の活用です。「みどり野ゼロカーボンヴェレッジ」では、これらのうちの太陽光発電設備の「壁面設置」または「屋根面と壁面への設置」のいずれかを必須とします（下表の赤枠内）。その必須項目と他の項目を組み合わせ、10ポイント以上とすることをオリジナルモデルとして採用・提案します。南幌町の地域特性を踏まえた提案を行いましょ。

「北方型住宅」の住宅基準

北海道の気候風土に根ざした質の高い住宅である「北方型住宅」。「長寿命」「安心・健康」「環境との共生」「地域らしさ」の4つの基本性能に基づき、省エネルギー、耐久性、高齢化への対応、地域資源といった基準等を満たした住宅です。

住宅履歴情報の保管

竣工後は、きた住まいのサポートシステム(*5)に住宅の仕様や性能等を登録・保管します。

*4 北海道で、1988（昭和63）年から産学官が連携して、本道にふさわしい豊かな住まいを目指して開発普及に取り組んでいます

*5 きた住まいのメンバーの情報公開、住宅ラベリングシートの作成（住宅性能の見える化）、新築時の図面・工事写真・修繕情報等の保管、北方型住宅基準など基準のチェックをします

北方型住宅 ZERO が設定するポイント（下表）

- 表1の「定量的に評価が可能な対策」から組み合わせて合計10ポイント以上とすることで北方型住宅ZEROの性能を有すると認められます。
- 表2の「現状のツールでは、定量的に評価を行うことが難しい対策」は、表1で合計10ポイント以上となった場合に加算することができるポイントです。
- 「みどり野ゼロカーボンヴィレッジ」モデルが求めるのは、表1の必須項目と任意項目の合計で10ポイント以上、さらに表2の対策を積極的に採用・加算して、ポイントを積み増します。

□：「みどり野ゼロカーボンヴィレッジ」の必須項目（いずれか1つ。他は任意項目）

表1 定量的に評価が可能な対策

	項目	ポイント数
外皮性能の強化	外皮平均熱貫流率 UA 値を 0.28 [W/(m ² ・K)] 以下とする	3
	外皮平均熱貫流率 UA 値を 0.08 [W/(m ² ・K)] 以下とする	5
	窓の熱貫流率を 1.2 [W/(m ² ・K)] 以下とし、かつ日射熱取得率ηを 0.3 以上とする	3
通風・ひさし等の活用	夏季に効果的に通風を行える窓の仕様及び配置とする	1
	採光面に設置する主たる窓に有効なひさしを設置する	1
高効率設備等	第一種熱交換換気システムを採用する	3
	パッシブ換気システムを採用する	1
再生可能エネルギーの活用	太陽光発電設備を屋根面のみに設置する	別表 1
	太陽光発電設備を壁面のみにパネル容量 2kW 以上を設置する	3
	太陽光発電設備を屋根面と壁面に合計パネル容量 5kW 以上を設置する	6
	太陽光発電設備に加え時間帯選択式 HP 給湯器を採用する	5
	太陽光発電設備に加え蓄電池設備を設置する	5
	太陽熱給湯器を設置する	5
	地中熱ヒートポンプ暖房機を設置する	2
	補助暖房として新や木質ペレット等の木質バイオマスを活用した暖房機器を設置する	1
地域資源の活用	主たる構造材に道産木材等を活用する	2
その他	地域特性を踏まえた脱炭素に資する対策	別途設定

表2 現状のツールでは、定量的に評価を行うことが難しい対策

	項目	(参考値★1)
敷地内の雪処理対策	敷地内の雪処理のためのエネルギーを低減	1
美しいまちなみの形成	敷地や壁面などを緑化する	1
木材の活用	木質外装材を採用する	1
その他	スカート断熱工法を採用する	1
	設計の工夫等による効率的な空間を創出する	1
	節水等の対策を行う	1
	HEMS などのエネルギー管理システムを導入	1

別表 1

太陽光発電容量	ポイント数		
	多雪区域	多雪区域外	
屋根面	1kW 以下	3	4
	2kW 以下	4	5
	6kW 以下	5	6
	6kW を超える	6	7
壁面★2	2kW 以上	3	3
屋根面と壁面の併用★3	5kW 以上	6	7

- ★1 ポイントについては、CO2排出量の削減に資する対策を評価するものであり、CO2排出量の多い項目等については、ポイントとは別に整理して提示予定
- ★2 壁面設置は方位によって発電量が異なるため、安全側の評価をするために西壁面に設置した場合で計算
- ★3 ポイントは、熱源がガスと電気の場合の平均値による

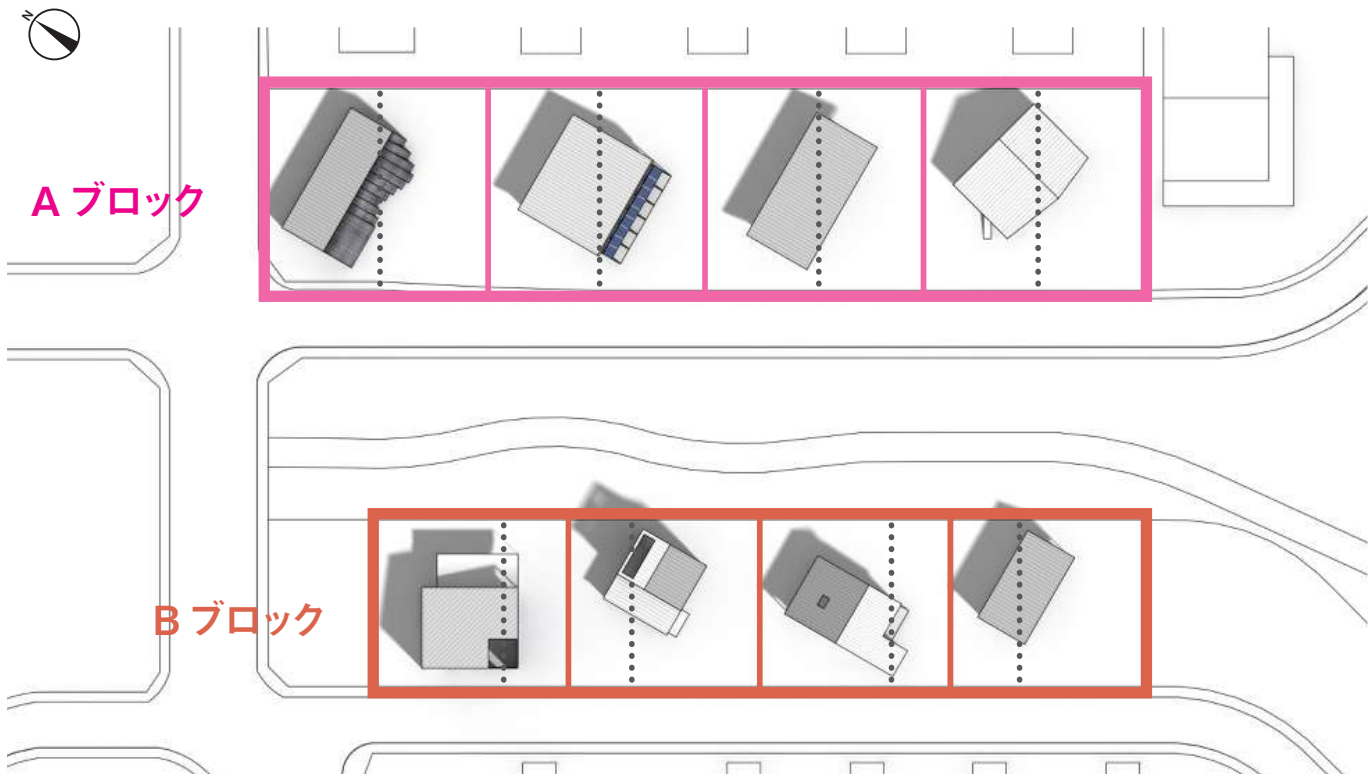
ルール3. 計画・デザイン

1) 区画および敷地利用の制限 (必須)

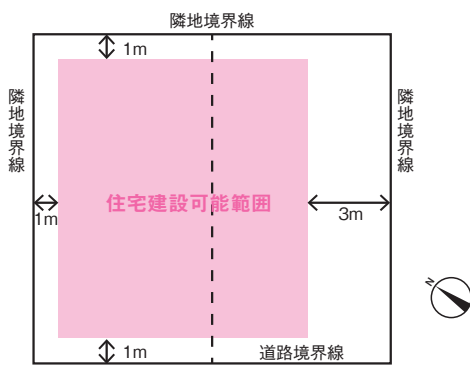
住まい手に広い視界を提供しつつ秩序あるまちなみを保つため、敷地の区画および敷地内における住宅の建設範囲について以下を設定

- 敷地は、できるだけ採光面積を大きくできる住宅配置を可能にするため、2区画分を基本とするAブロックと1.5区画分を基本とするBブロックを設定
- 敷地内における住宅の建設可能範囲を設定 (建設不可範囲は庭園や菜園、住まい手同士の共用の場などに活用。また、建設可能範囲内において建築基準法・都市計画法に則ること。)
- 敷地境界からの壁面退避距離1mを確保 (セットバック)

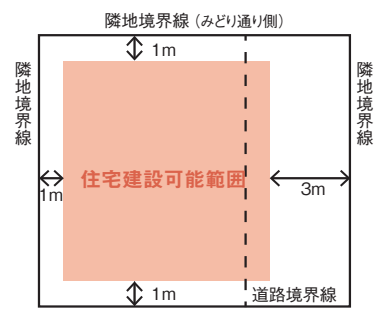
敷地の区画および住宅配置のイメージ



Aブロックの住宅建設可能範囲



Bブロックの住宅建設可能範囲



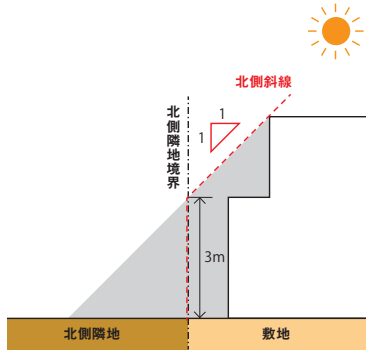
2区画分の敷地に平家建てを想定 (北東に位置する隣家への日射や視界を妨げないための配慮から平家を推奨)。ゆったりとした敷地使いによる開放的な暮らしが可能

1.5区画分の敷地に2階建てを想定。北東面が緑道 (みどり通り) に接することから、Aブロックに比べて敷地面積が小さくとも、実際の面積以上に暮らしの範囲の広がりを感じられる

2) 隣地への配慮（必須）

隣地に対して、十分な日射の確保や隣家の太陽光パネルへ日影を生じさせないため、さらに屋根からの落雪を防ぐ（雪かき軽減、安全性）ため、以下について配慮

- 北側斜線制限 3m + 45 度
- 無落雪屋根を採用（屋根材にシングル材やスノーSTOPPERなどを採用）



3) 景観への配慮（必須 + 任意）

「みどり野ゼロカーボンヴィレッジ」内および周辺地域に対する良好な景観を保つため、以下について配慮

- 物置などの屋外付帯施設を木質化し、既製品を禁止
- 塀や門扉を禁止
- 外壁仕上げの50% 以上を板張りとし、それ以外は自然素材や鉄板を使用（任意）

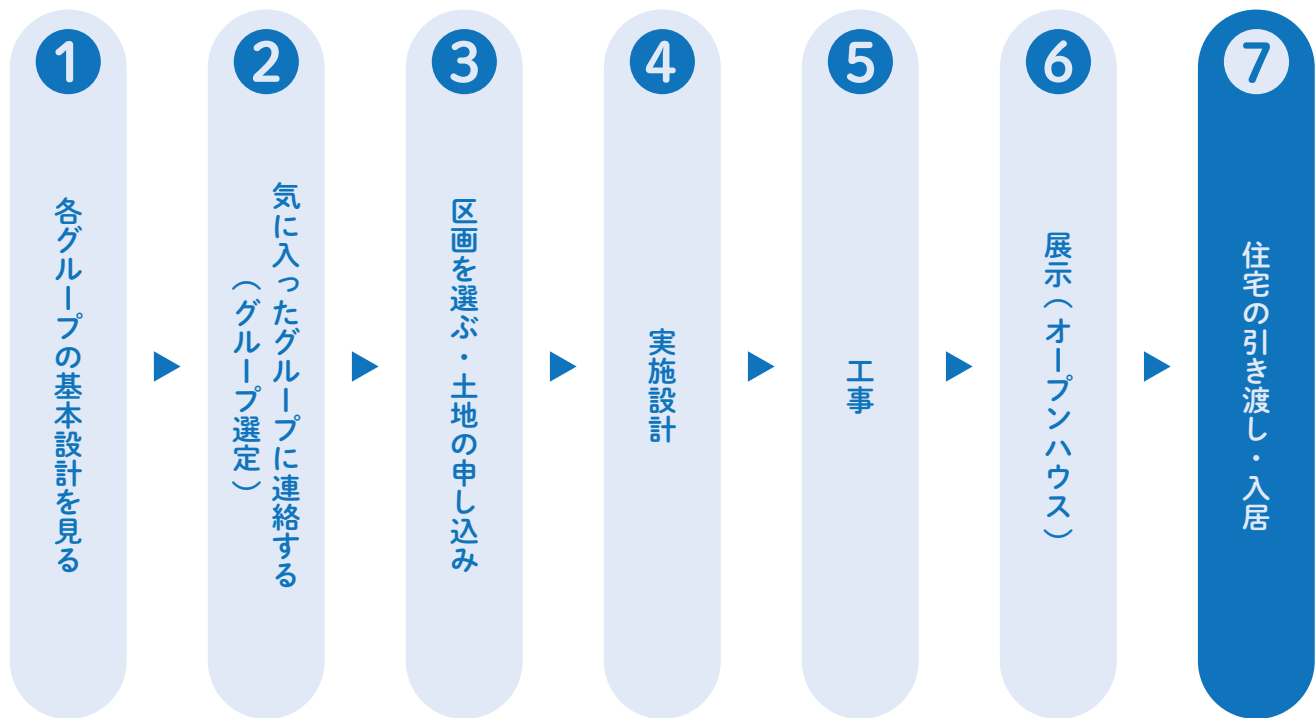


4) 暮らしへの配慮（任意）

南幌の気候の特徴を考慮して、季節に応じた心地良さや暮らしに必要な機能、広がりをもたらす半屋外的で豊かな住空間の確保のため、以下について配慮

- 通風（季節風）に配慮して窓を配置（任意）
- 薪置場やテラス、デッキを設置（任意）





各種窓口 (問い合わせ先)

南幌町 ☎ 011-378-2121

- 住宅の建設費補助及び住宅の展示に対する支援に関すること。
- ヴィレッジのまちなみ形成等に係る住民の合意形成に対する支援に関すること。

北海道住宅供給公社 ☎ 011-261-9273

- 宅地の分譲に関すること及び住宅の設計、展示に対する支援に関すること。

一般社団法人北海道ビルダーズ協会 ☎ 011-215-1112

- 本事業に参加する住宅建設事業者を事前に選定すること。
- 住宅建設事業者に係る相談に応じること。

公益社団法人日本建築家協会北海道支部 (JIA) ☎ 011-788-7491

- 本事業に参加する住宅設計事業者を事前に選定すること。
- 住宅設計事業者に係る相談に応じること。

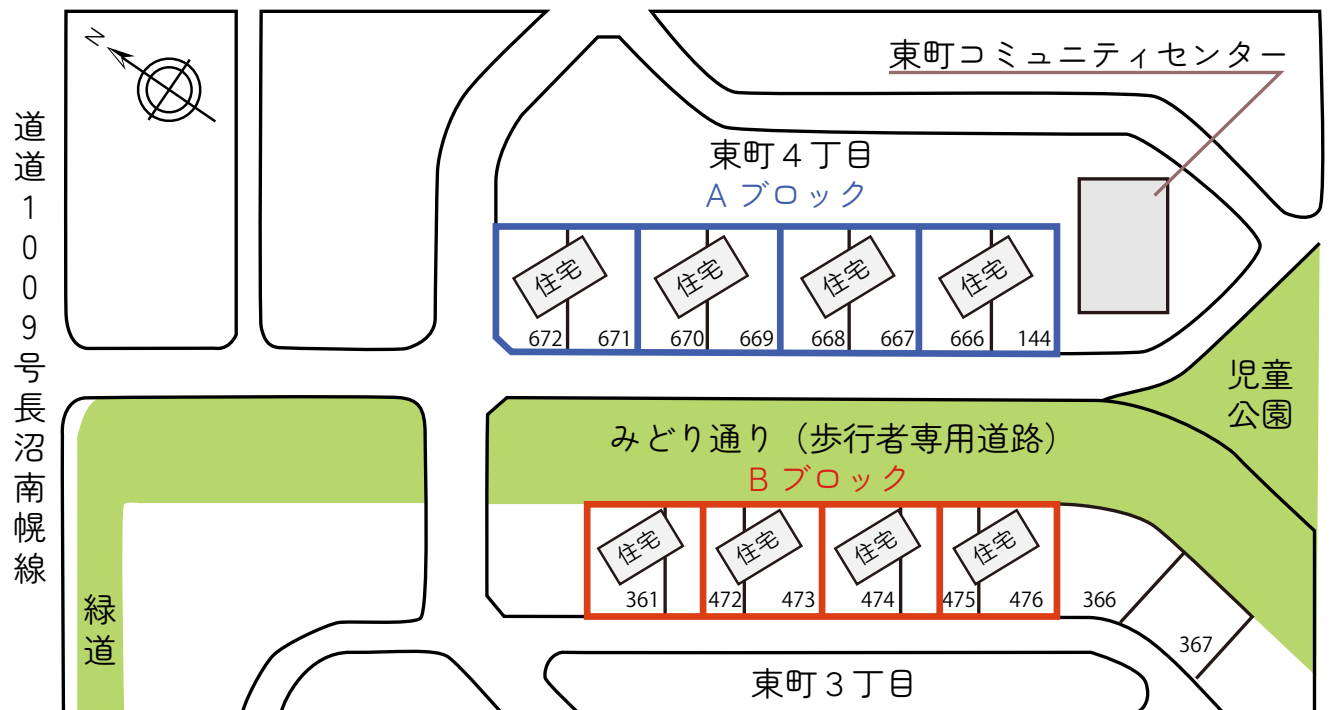
北海道 ☎ 011-204-5577

- 住宅の展示に対する支援 (公社又は南幌町が行うことを除く。)に関すること。
- 事業全体の調整に関すること。

事業地



敷地 (区画)



プラン集編

南幌町ゼロカーボンヴィレッジ 参加グループ一覧

各グループの基本設計を見て気に入った
グループの建築家 or 工務店に連絡!!



連絡先はこちらの
HPからご覧ください

ブロックの
種類 →

A

設計タイトル
サブタイトル
概算工事費(税込)*
床面積

CO2削減
ポイント →

10pt

*土地購入費・設計監理費、その他諸費用等は
参加グループにお問い合わせください。

Group 1
16~17



(株) 橋本川島コーポレーション



澤村尚浩建築計画室

A

ゆとりが生まれる暮らし

斜辺が光の変化と中間領域をつくり
内と外を緩やかにつなぐ
約5,500万円

187.56m²

20pt

Group 2
18~19



大平洋建業(株)



(株) ボンアーキテクト

A

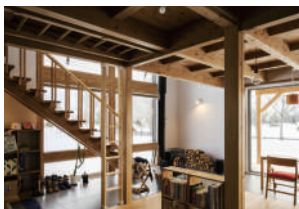
暮らしと庭づくりを
楽しむ四季の家

時間をかけて育てるライフスタイル
約5,900万円

141.31m²

17pt

Group 3
20~21



武部建設(株)



アトリエ momo

B

てまひま暮らしplus

楽しみながらてまひま+自然エネルギーの暮らし
自然の恵みに感謝しながら心地よく暮らす住まい

約4,600万円

90.26m²

22pt

Group 4
22~25



(株) 太平ホーム北海道



ノムアーキテクト

A

内外をつなぐ家Ⅰ

外部の環境を内部に取り込む豊かな暮らし
約4,700万円

131.51m²

17pt

B

内外をつなぐ家Ⅱ

住まい方を工夫して季節と共に暮らす
約4,200万円

130.58m²

25pt

Group 5
26~27



(株) 松浦建設



(株) エスエーデザインオフィス

A

B

共通

緑と太陽とともに暮らす、
南幌の曲がり家

Magari-Ya in Nanporo ~
living with greenery and the sun

約3,400万円

115.93m²

20pt

MIDORINO ZERO CARBON VILLAGE

28~29
Group 6



(株) 山忠高島建設



ナカノ設計店

A

ひだまりの家

太陽の恵みを最大限受け取る住まい
約5,300万円

129.91m²

10pt

30~33
Group 7



丸作吉田建産(株)



(株) 米花建築製作所

A

南幌ネイチャーベースⅠ

南幌の自然の恵みをキャッチする住宅
約5,300万円

122.14m²

18pt

B

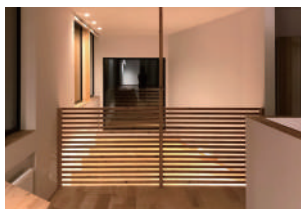
南幌ネイチャーベースⅡ

南幌の自然の恵みをキャッチする住宅
約6,100万円

118.98m²

18pt

34~37
Group 8



(株) リノア



(同) 石塚和彦アトリエ

A

LINKING

-連結-「建築×モビリティ」による新しい暮らし
約3,600万円

96.62m²

13pt

B

LINKING

-連結-「建築×モビリティ」による新しい暮らし
約3,600万円

94.72m²

13pt

38~39
Group 9



(株) 奥野工務店



山下竜二建築設計事務所

A

B

共通

3つの家と余白の間と

住人の個性を引き立てる家

約4,300万円

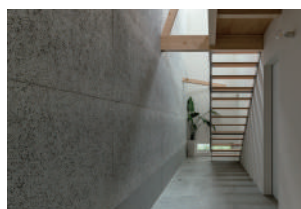
96.89m²

15pt

40~41
Group 10



(株) キクザワ



弘田亨一設計事務所

B

Linear Zero Carbon House

南北軸に奥行のある住まい

約3,600万円

127.53m²

16pt

42~43
Group 11



紺野建設(株)



(株) 山本亜耕建築設計事務所

B

大きなタープに覆われた家

ソーラーウォールで半屋外を楽しむ家

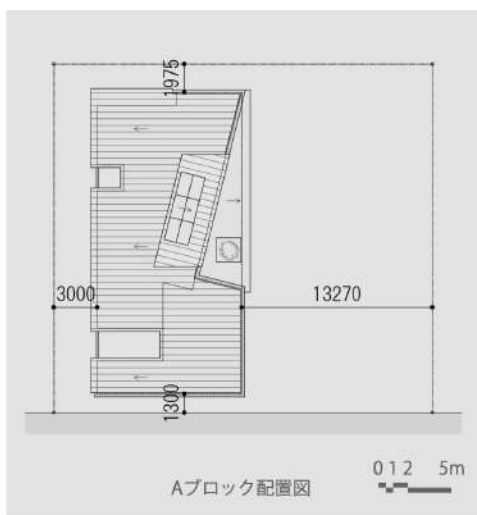
約4,300万円

178.87m²

13pt

ゆとりが生まれるくらし

斜辺が光の変化と中間領域をつくり内と外を緩やかにつなぐ



Point

- ① 二つのテラスが様々な暮らし方や変化に応える
- ② 脱衣と分けた4帖の洗濯乾燥室で雨天も気にせず洗濯
- ③ 将来の暮らしの変化も考えた水廻りと子供部屋

南東側に庭スペースを広く残す配置計画とし、二つのテラスを介して内と外を緩やかにつなぎ、住まい手の暮らし方や家族構成、生活スタイルの変化に応える、伸びやかでゆとりある南幌町らしい住環境（屋外も含めた）をつくりたい。また生活動線にできるだけ素直な平面計画にし、空間用途ごとにまとまった収納スペースを設けることで、暮らしやすさも大切にしています。周囲に気兼ねなく屋外に洗濯物を干せる専用スペースがあり、脱衣室とは別に設けた広めの洗濯乾燥室が、雨の日の物干しや普段のユーティリティルームになります。将来を考慮し軽微な工事で、トイレは介助が必要になった際に洗面と一体の空間に、子供部屋は間仕切り壁を外し一室の広い寝室として利用することも。家族の暮らしと変化に寄り添う住宅です。

施工

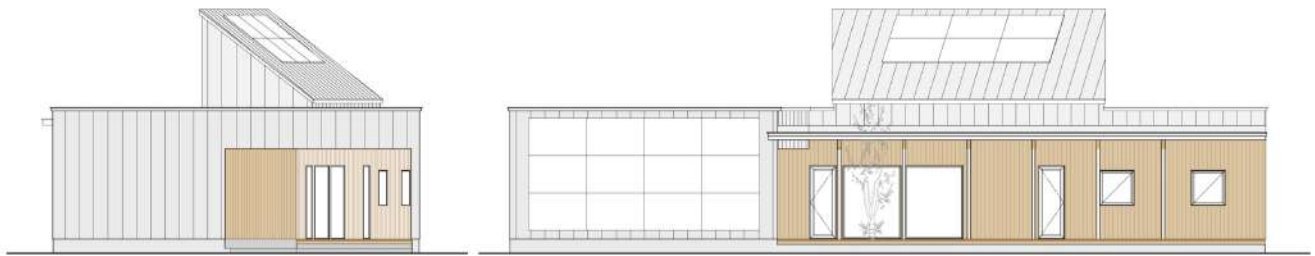
(株)橋本川島コーポレーション

私たちは 70 年以上にわたり、道北圏で街づくりから家づくりまで幅広く手がけてきました。2005 年には豊富な経験と実績を生かし、新たに住宅事業部「HK house」を設立。道央エリアにもフィールドを広げ、北海道の建築家とともに、家づくりに取り組んでいます。

設計

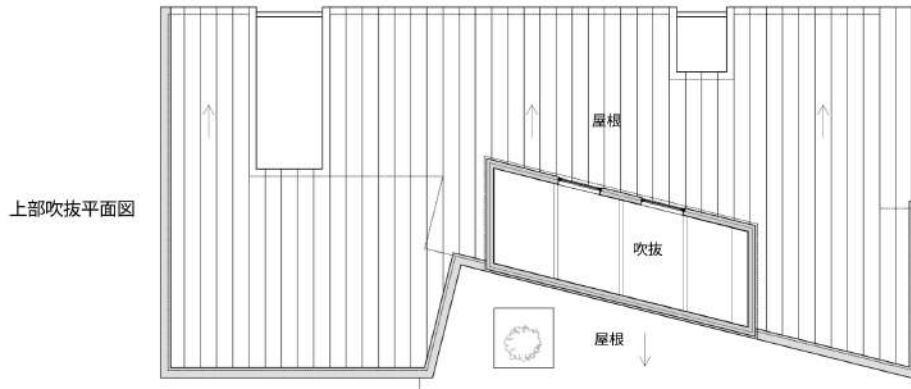
澤村尚浩建築計画室

「日常のいごころ」を大切に、暮らしや生活負担の軽減・次世代への継承など家づくりを一緒に考え、キッチンや家具・建具などを造作し自由で統一感のある住宅を御提案します。ときには絵画などインテリアの御相談も。道産木材や地域の素材活用にも取り組みます。住まい手に愛される人生に寄り添う建築をつくります。

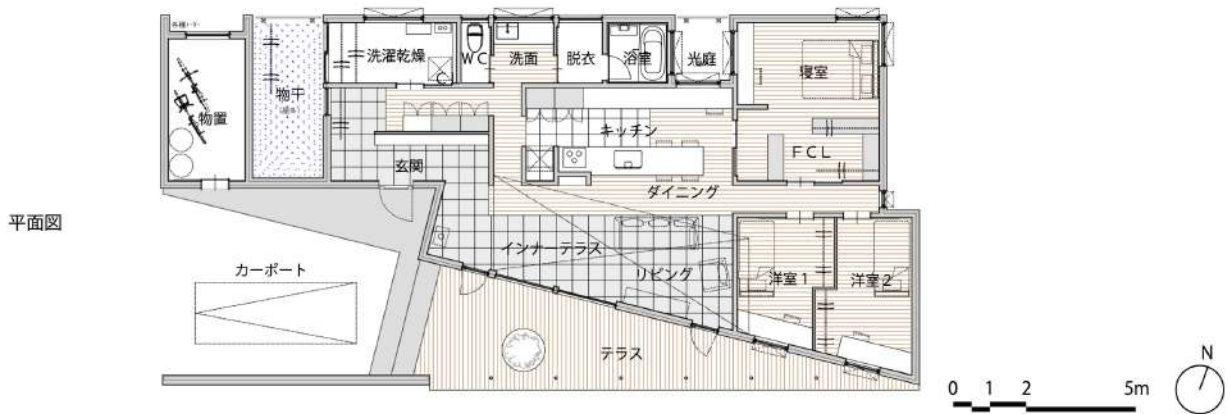


南西立面図

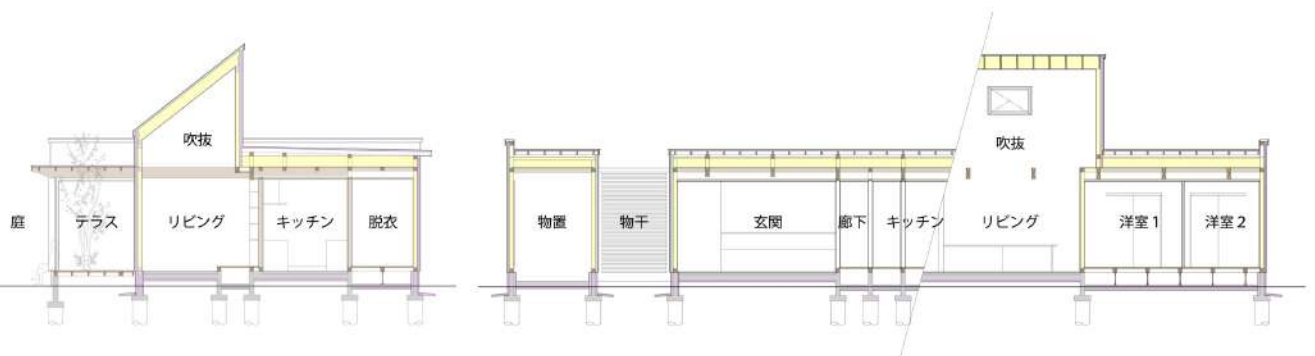
南東立面図



上部吹抜平面図



平面図



脱炭素化対策

外皮 UA 値 0.28 以下、太陽光パネルを屋根と壁面に設置し冬場の発電も期待。蓄電池や EV 充電設備、HMES を併用し効率的な自家消費を行い、将来の薪ストーブの設置も想定しています。また、仕上げ材だけでなく構造材にも道産木材を使用します。南側は深い庇で日射侵入を抑制し、

リビング上部の北向きのハイサイドライトから安定した光を取り込みつつ、煙突効果による自然換気で室温上昇を抑えます。（北方型住宅 ZERO のポイント数 約 20）様々な設備や設え、暮らし方、地元素材の積極的な活用で CO2 排出量の削減や地域経済の循環に貢献します。

暮らしと庭づくりを楽しむ四季の家

時間をかけて育てるライフスタイル



Point

- ① 暮らしにメリハリを与える土間リビング
- ② 道産材を現した木の香りと手触り感の癒し効果
- ③ パッシブ換気システム換気暖房による快適な室内環境

この家は長手方向の切妻の形をそのまま内部空間としています。2階の床高さを低く抑え、吹抜けを介しひとつながりの空間としました。道産材の構造体を露出した空間は木の香りと手触り感により癒し効果が期待できます。土間は外に近い内、ウッドデッキは内に近い外になります。暮らしを楽しむ家を年間通して素足で感じてください。庭は、次のような目的別に5つの庭をつくってはいかがでしょうか。

プライバシーを守る北側のバックガーデン、風雪を緩和する北西の防雪林、南東側は小さな森、南側は発電を邪魔しない家庭菜園、アウトドアリビングとして使えるウッドデッキを中心とした中庭。程よくプライバシーを守る豊かな緑は涼しげな木陰をつくり景観提供と周りに緑化の連鎖反応を起こし「みどり野」に相応しい景観をつくることでしよう。

施工

大平洋建業（株） 佐藤 誠

1963年札幌市で創業以来、戸建て住宅、共同住宅、商業施設、公共施設等様々な建築物を手掛けてまいりました。住宅分野においては1棟1棟丁寧に、お客様との対話を重視しながら提供してまいりました。特に「空気のおいしい家」のキャッチフレーズのもと、パッシブ換気床暖房システムの住宅を提供しております。これからも地域に根ざした住宅を造り続けます。

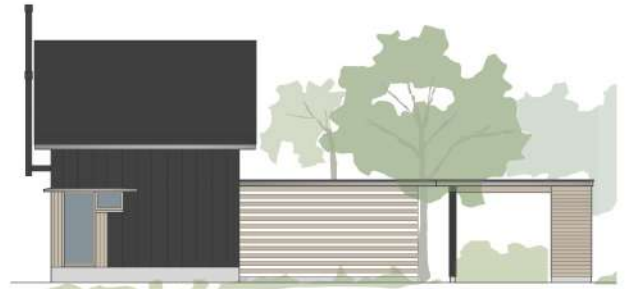
設計

(株) ボンアーキテクト 森 徳彦

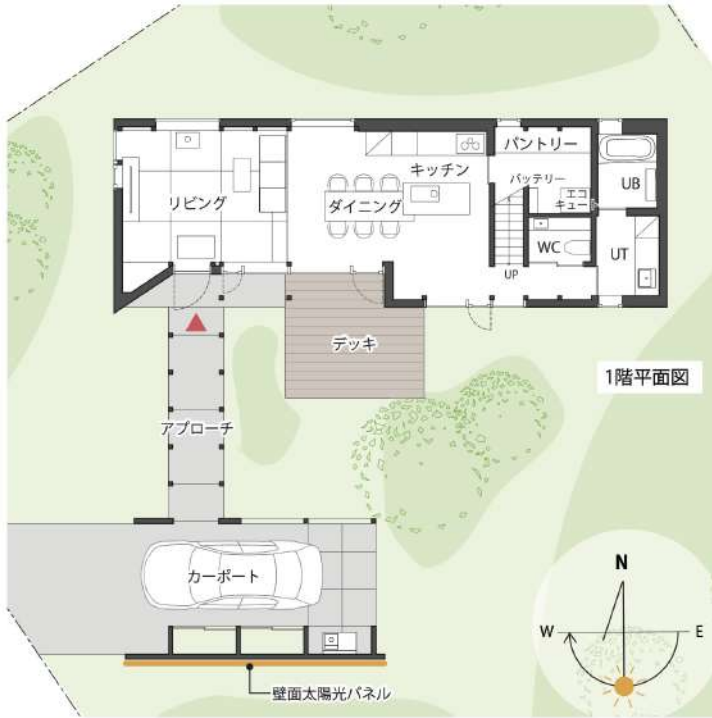
1982年東海大学工学部建築学科卒業、神奈川県内の設計事務所勤務後、札幌市の(株)清和建築設計事務所に入所。住宅、商業建築、公共建築等の建築設計に関わる。2002年社名変更し代表取締役就任。パッシブシステム研究会や北海道建築技術協会の活動を通し更新した技術と地域気候を生かしたパッシブデザインを基に、四季の中で暮らしや庭づくりなどライフスタイルを楽しむ家をつくります。



南立面図



西立面図

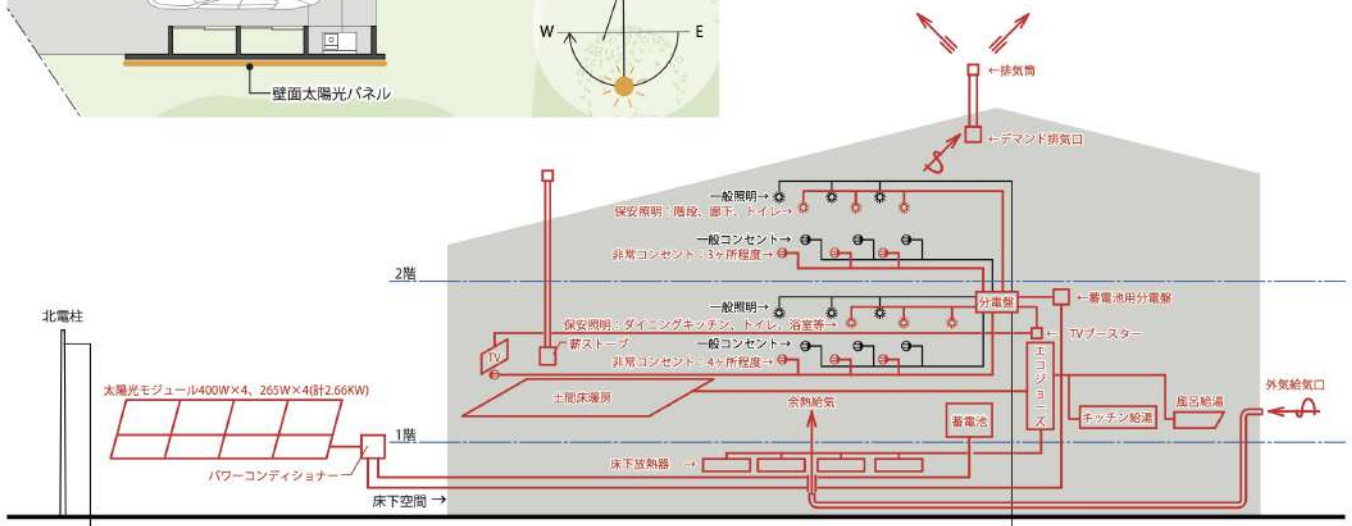


1階平面図



2階平面図

0 1 2 5m



※システムの稼働の考え方を示した概念図なので図中の機器類の数を示したものではありません。

・常時機能するシステムは黒表示
・常時及び停電時も機能するシステムは赤表示

脱炭素化対策 システム概念図

脱炭素化対策

建物の基本性能を上げパッシブ的手法を取入れた上で真南に向けたカーポート壁面設置の太陽光モジュールで効率よい発電を可能にしました。(UA値0.25W/㎡・K)
熱源はガスとし、ランニングコストとボイラーのメンテナンスが少ないエコジョーズを採用。居室換気は機械や電気

に頼らないパッシブ換気暖房にしました。エコジョーズによる床下暖房とパッシブ換気の組み合わせでインシャルコストとランニングコストを抑え、停電時は蓄電池を利用して換気、暖房、給湯、非常電源と保安照明を確保します。
「北方型住宅ZERO」定量的評価が可能な対策 合計17ポイント



てまひま+ くらし plus

楽しみながらてまひま+自然エネルギーの暮らし
自然の恵みに感謝しながら心地よく暮らす住まい



Point

- 機械任せではなく、わずかなてまひまでそれぞれの体感に合わせた心地よい空間と、最小限の光熱費で快適な高断熱・高気密の住まい
- 大工の手仕事を感じながら、愛着をもって永く住まえる地域材の家
- 南幌の環境を楽しめる、自然エネルギーと共に暮らす住まい

南幌の地域環境に根ざした、自然エネルギーとともに暮らすことを目標にちょっとしたてまひまをかけることで、それぞれが感じる心地よさに寄り添う環境が作れる住まいです。デメリットに思えるような四季を通じての南幌の強い風も、配置の工夫などでメリットに変える工夫が満載です。暮らしの中からどうしても発生してしまうCo2を、太陽の熱や光、室内外の温度差や風の力を活かして、化石燃料を使いすぎないように配慮することで排出を最小限に抑えることができます。それは、日々の光熱費を抑えることにも繋がります。暮らしに必要な自動車も、将来の電化に対応できるように配慮しています。また、コンパクトでありながら広がりを感じつつおらかに住まいながら、家事導線も無駄なく回遊できるようにして、家族の成長や暮らし方に合わせてカスタマイズできるように、2階の造作は最小限にしています。

施工

武部建設 株式会社

木にこだわり、大工の技がいきる木造住宅を主として、北海道の気候風土に根ざしたデザイン、性能、機能を大切に、省エネルギーで暖かく開放感のある家づくりをしています。南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジでは、2017年よりアトリエmomoとチームを組み、5棟の住まいづくりに携わってきました。これまでの実績を生かし、南幌町の気候風土にあった住まいの提案をさせていただきます。

設計

アトリエmomo

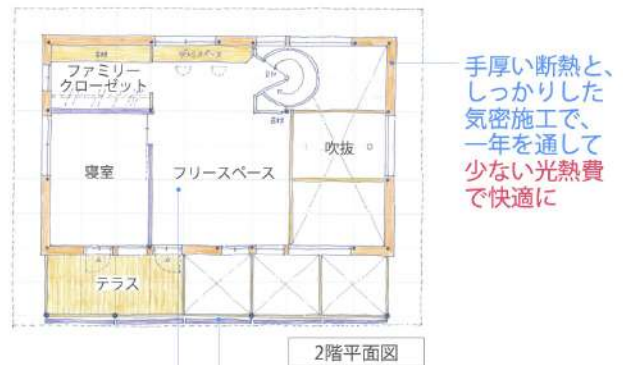
身近な素材を使い、思い出や場の記憶を大切にしながらこころや環境にできるだけ負荷の少ない設計を心がけています。できた時が完成ではなく、その先の暮らしを楽しむきっかけになるような、永く愛され、暮らし続けられる住まいづくりをお手伝いします。四季折々、毎日発見のあるような楽しい南幌暮らしと一緒に実現しませんか？



コンパクトなプランながらデッキを通して屋外空間とつながり拡がる暮らし

薪ストーブと床下温水暖房の併用で、より家族の感覚に合わせた温熱環境を実現

冬季間は自然換気で、静かに快適に換気でき、薪ストーブの給気も安心



カーポートに併設した太陽熱温水器は温水暖房にも給湯にも利用でき、足りないときはエコジョーズで補います

家族のステージに合わせて可変可能な2階スペース

テラス手すりに設置の太陽光パネルでメンテナンスしやすく冬も発電可能。蓄電池の採用で自家消費UPし、災害時でも安心

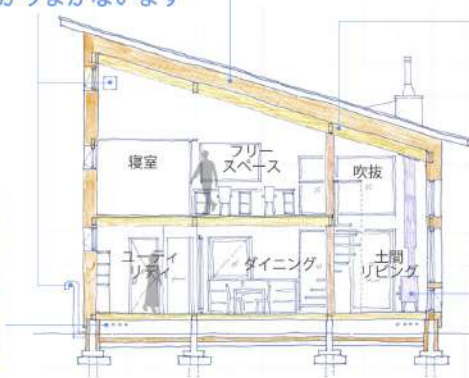
自然エネルギーを利用したパッシブ換気は冬季間の換気を静かにしっかりまかないます

高断熱高气密で、使用する化石燃料を最小限に抑さえ、心地よい温熱環境を実現します

地域の材料をふんだんに使い、大工の手仕事がかかる構造あらし仕上げで愛着を持って永く住んでもらうことでさらに環境貢献につながる

「てまひま暮らし」に欠かせない唯一自分で作れるエネルギーである薪ストーブ

床下の温水暖房も太陽熱温水器の熱を利用して使用する化石燃料を最小限に



北方型住宅ZERO 脱炭素化対策ポイント

- 外皮性能 (Ua値 0.28以上) : 3 P
- 庇、通風 : 2 P
- パッシブ換気 : 1 P
- 太陽光パネル壁面設置 (2kw以上) : 3 P
- 蓄電池 : 5 P
- 太陽熱温水器 : 5 P
- バイオマス利用 (薪ストーブ) : 1 P
- 道産材利用 : 2 P

合計 : 22 P



脱炭素化対策

冬季間も発電が期待できる壁面設置パネルを、メンテナンスしやすく、庇の影響を受けづらいテラスの手すりに設置し、蓄電池も設け、できるだけ発電した電気が自家利用できるように配慮しています。太陽の光は熱として利用するほうがロスも少なく、暖房に利用するには有利なため、カーポートの柱に太陽熱温水器を設置し、暖房・給湯に足りない分はエコジョーズボイラーで補う想定をしています。南幌の強い風を

活かした小規模風力も接続可能です。また、これまで「てまひま暮らし」で大切にしてきた、唯一自分で作れるエネルギーである薪ストーブと、温水床下暖房を組み合わせ、冬季間と中間期も合わせて、使う燃料を最小限にした心地よい温熱環境を実現しています。自然の力を利用したパッシブ換気は、電気を使わず冬季間の換気を静かにまかないます。地域材をふんだんに使用することで、炭素固定も期待でき、ちいさな取り組みの積み重ねでCO2削減をしっかりと行います。

内外をつなぐ家 I

外部の環境を内部に取り込む豊かな暮らし



Point

- ①内部と外部を緩やかに繋ぐ縁側空間
- ②広々とした敷地を活かす扇状に広がる平面形状
- ③除雪を考慮しアプローチを兼ねたカーポート

みどり野ゼロカーボンヴィレッジの広々とした区画を大きく使う為に、外部の環境に対して開くような扇状の平面形状としています。

家族構成はご夫婦と一人のお子さんを想定し、家族の集まるリビング・ダイニングに、前面道路側からの緩衝材となるような縁側の空間を設けています。同時に夏季の日射の緩和を考慮して縁側を覆うように軒を伸ばすデザインとし、縁側の大きな開口部に対して冷房時に消費するエネルギーの削減を意識しています。

緩やかな緑が優しく繋がる南幌町に相応しい、三角屋根が細く長く繋がる平屋の住まいを計画しました。

施工

(株) 太平ホーム北海道

北海道人の想いが創る家
北海道内、札幌、旭川、釧路、帯広、苫小牧、函館の全6拠点で北国の気候風土にあった暖かく、堅牢さと美しさを兼ね備えた、未永くご満足のいく住まいをお届けします。

設計

ノムアーキテクト

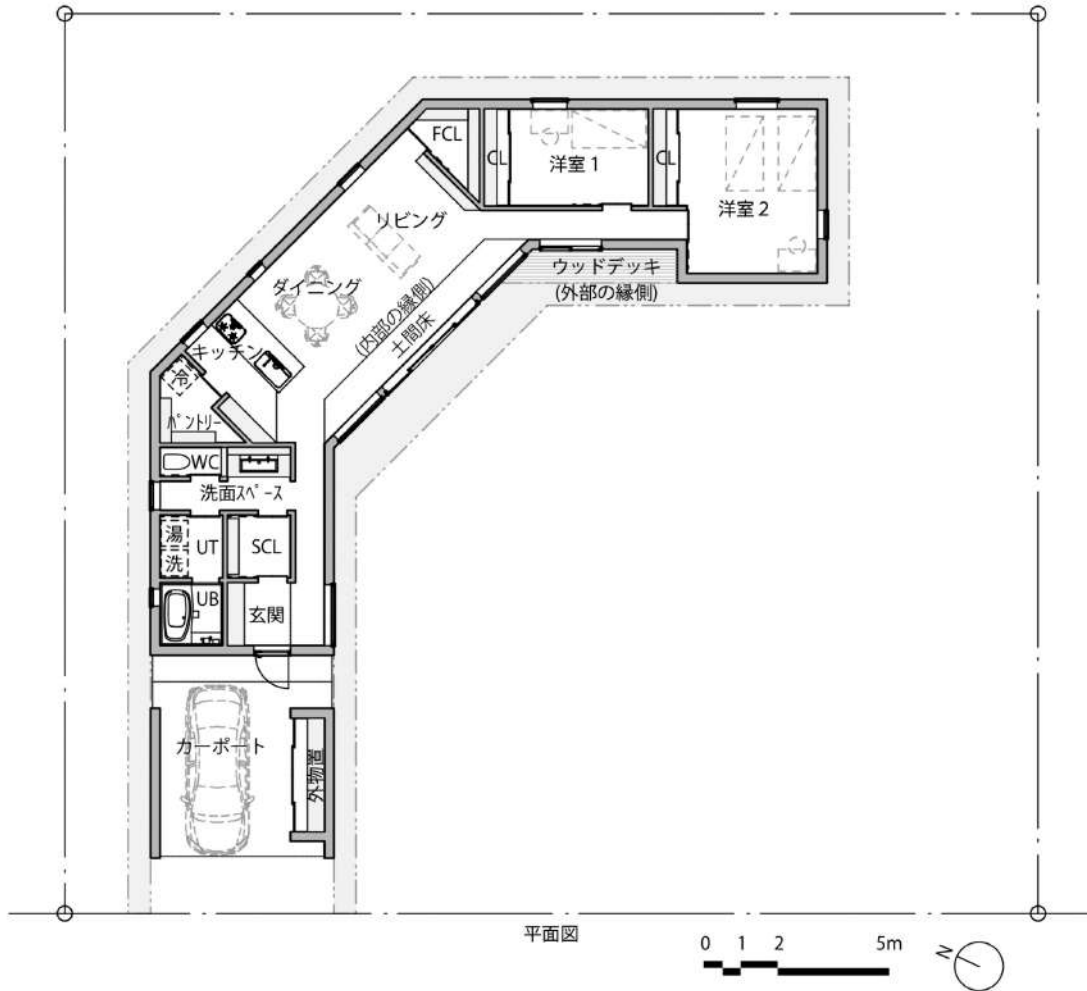
日々の生活を豊かにするような、住み心地の良い空間をつくるお手伝いをさせていただきます。家づくりの過程までも楽しめるような提案をいたします。

【経歴】

2012～2018 設計事務所勤務にて主に住宅設計に従事
2018～ 一級建築士事務所ノムアーキテクト開設



南立面図



平面図



西立面図

脱炭素化対策

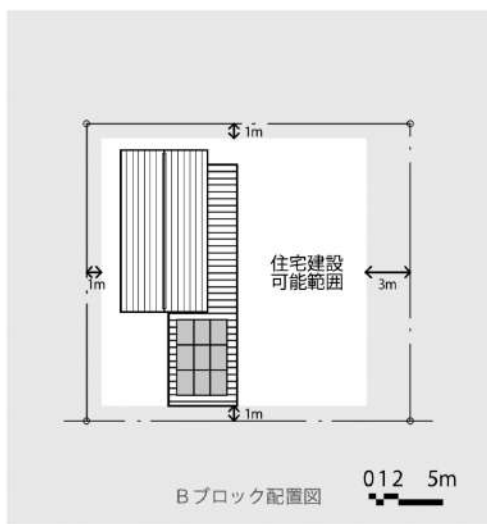
太陽光パネルは7枚で、合計のパネル容量は2.8kWを想定。壁面のみの設置とし、清掃等の簡便なメンテナンスを考慮、手の届く1階カーポート壁への設置を計画しています。充填断熱に高性能グラスウール105mm、外貼断熱材にフェノールフォーム断熱材100mm、開口部は三層ガラスの樹脂

サッシとすることで高水準の断熱性能を確保し、その性能を基にした自然な空気の対流を利用するパッシブ換気を計画しています。

【北方型住宅ZERO】の合計ポイント：「17」を想定（太陽光パネル、外皮性能、パッシブ換気、その他）

内外をつなぐ家 II

住まい方を工夫して季節と共に暮らす



Point

- ①テラスと吹抜とを繋ぐ開放的なリビング
- ②三角の屋根がつくりだす吹抜を通して広がる勾配天井
- ③除雪を考慮しアプローチを兼ねたカーポート

南幌町の伸びやかな平野を感じることができる庭につながる土間のテラスと大きな吹き抜けが広がる住まいの提案です。

家族構成はご夫婦と一人のお子さんを想定。リビング・ダイニングと2階のホールが吹き抜けによって一体的につながるような設計としています。テラスの屋根下は、日射を遮る簾を設けたり、雪が入り込まないように雪留めを設けたりと、建物だけに頼らずに季節ごとの住まい方を工夫できるような自由なスペースをイメージしました。

アプローチを兼ねたカーポートとテラスを結ぶ平屋に、スノーストッパーの三角屋根が繋がる2階建ての住まいを計画しました。

施工

(株) 太平ホーム北海道

北海道人の想いが創る家
北海道内、札幌、旭川、釧路、帯広、苫小牧、函館の全6拠点で北国の気候風土にあった暖かく、堅牢さと美しさを兼ね備えた、未永くご満足のいく住まいをお届けします。

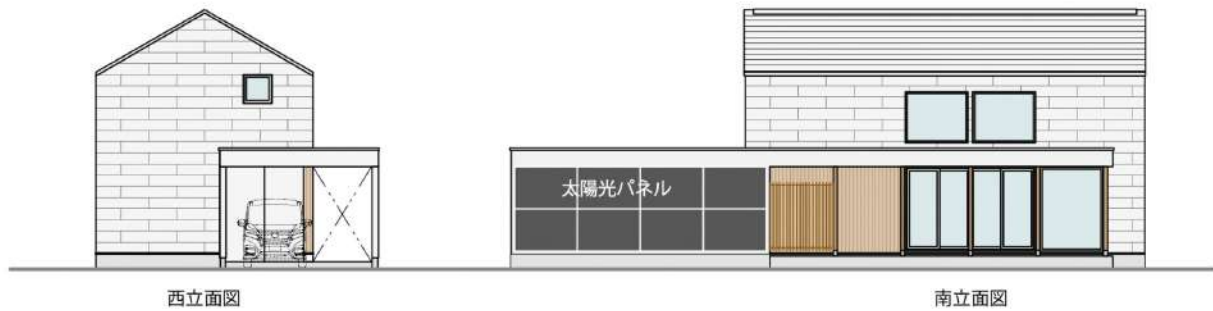
設計

ノムアーキテクツ

日々の生活を豊かにするような、住み心地の良い空間をつくるお手伝いをさせていただきます。家づくりの過程までも楽しめるような提案をいたします。

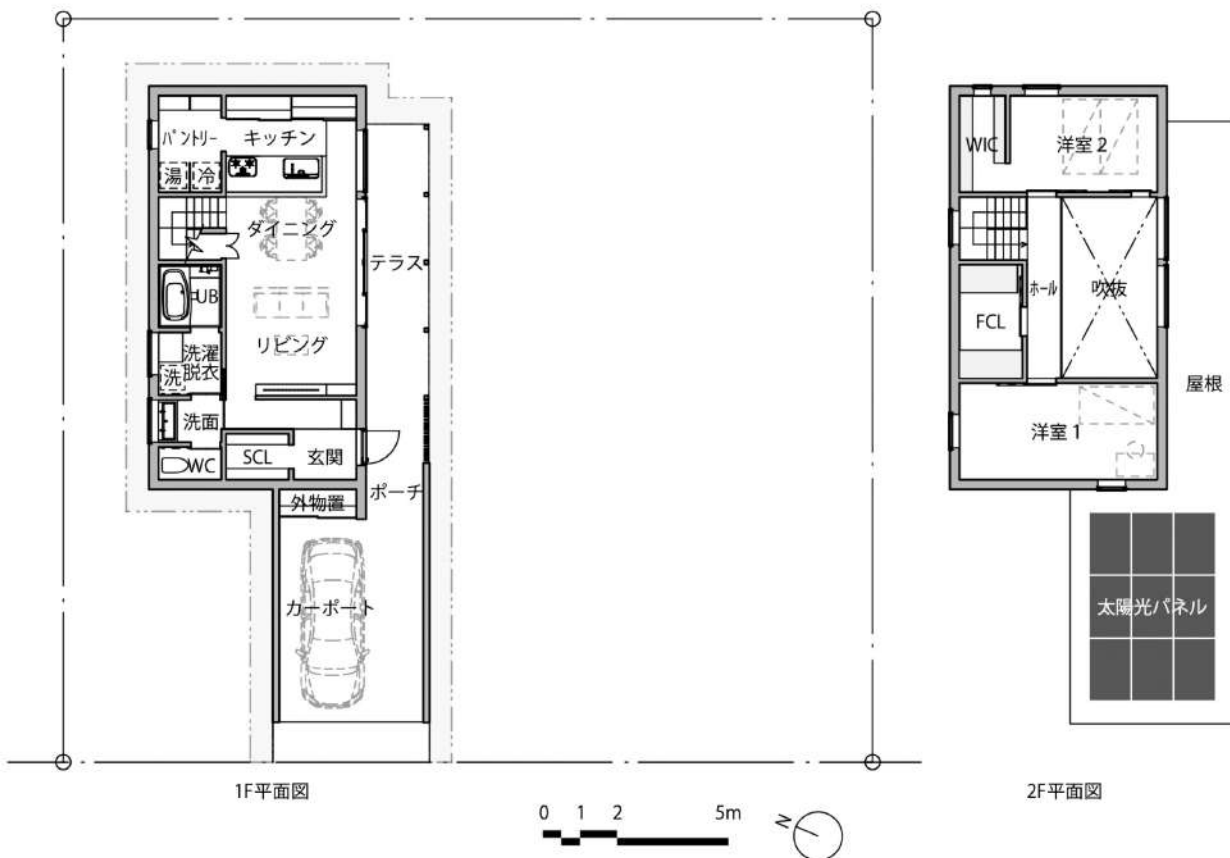
【経歴】

2012～2018 設計事務所勤務にて主に住宅設計に従事
2018～ 一級建築士事務所ノムアーキテクツ開設



西立面図

南立面図



1F平面図

2F平面図

脱炭素化対策

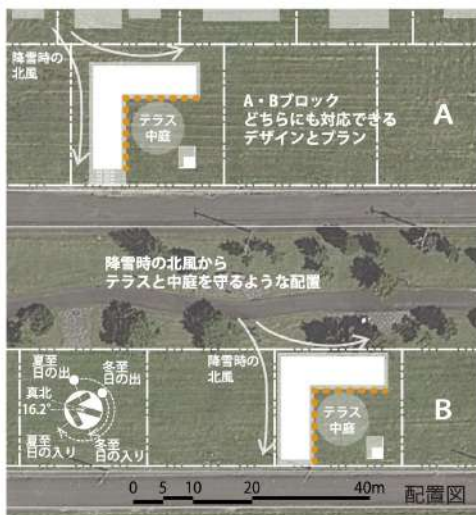
太陽光パネルは壁に8枚と屋根に9枚で、合計のパネル容量は6.8kWを想定。さらに蓄電池を設置し、自家消費比率を増やすことによる電気代の削減や非常時の備えとしている。充填断熱に高性能グラスウール105mm、外貼断熱材にフェノールフォーム断熱材100mm、開口部は三層ガラスの樹脂

サッシとすることで高水準の断熱性能を確保し、その性能を基にした自然な空気の対流を利用するパッシブ換気を計画しています。

【北方型住宅ZERO】の合計ポイント：「25」を想定（太陽光パネル、蓄電池、外皮性能、パッシブ換気等）

緑と太陽とともに暮らす、南幌の曲がり家

Magari-Ya in Nanporo ~ living with greenery and the sun



Point

- ① 陽の光を受け止め、大きな中庭を囲むL型の配置
- ② バリアフリーで可変性のある平屋による間取りと構造
- ③ 耐久性と管理のし易さに配慮した創エネ、省エネ設備



施工

エコットハウス 松浦建設 松浦邦充

当社はこれまで断熱・気密に特化し、パッシブ換気と1m断熱を標準とした住宅づくりを行ってきました。今回は太陽光パネルを加え、更に進化した住宅をご提案します。壁面設置の太陽光パネル、機械交換が不要なパッシブ換気システムなど居住後のメンテナンスも大切にしています。

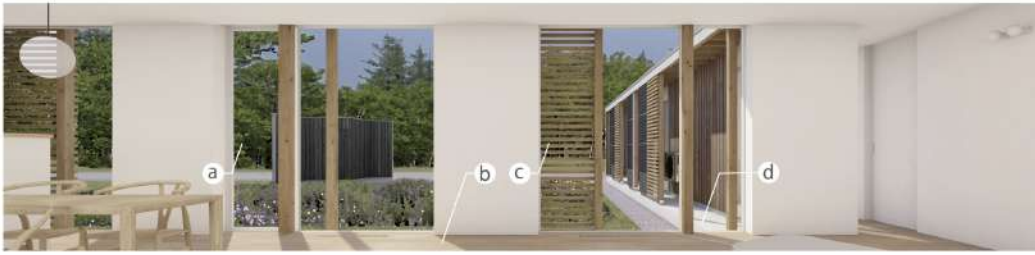
受賞歴：ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2022 優秀賞

設計

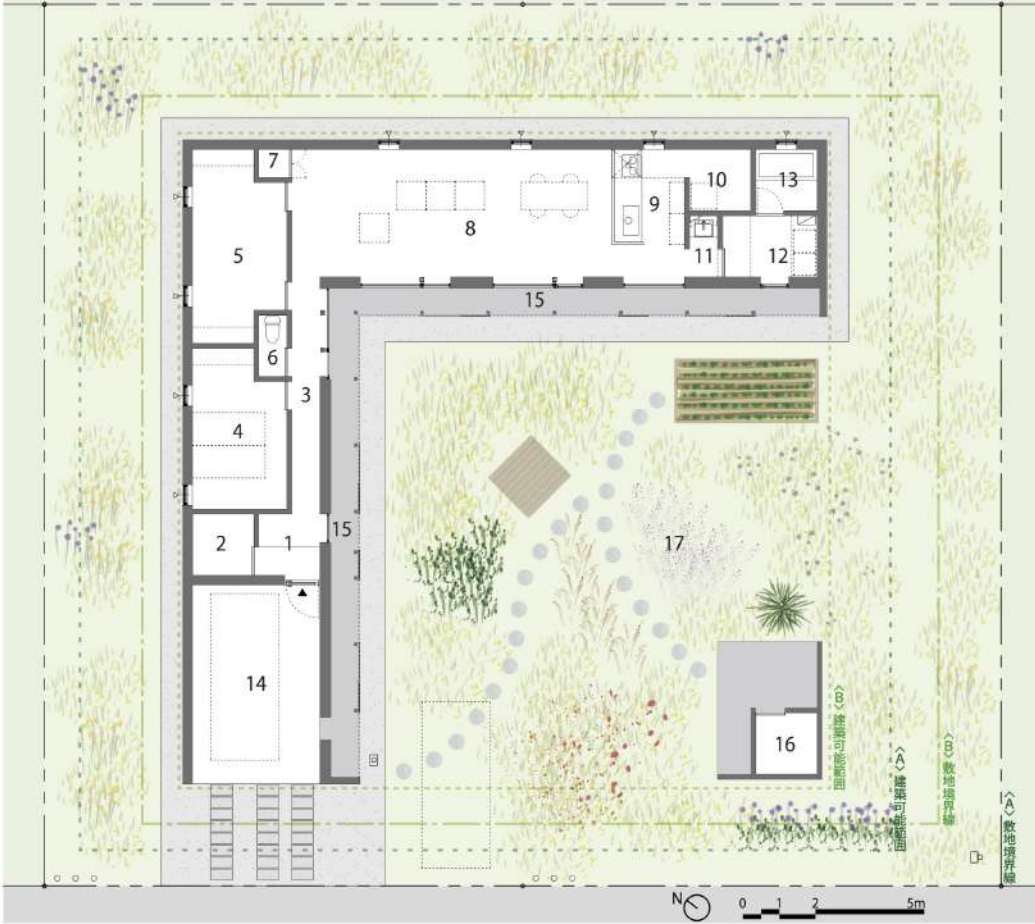
エスエーデザインオフィス一級建築士事務所 小倉寛征

時を経ても輝きを失わない建築を作りたいと考えています。暮らしに馴染み、気候風土を理解し、敷地や地域の特徴を活かすことが大切です。ゆっくりと希望をお聞きし、納得のゆくまで検討を続けています。

受賞歴：第1回北方型住宅賞奨励賞「上野幌の家」、第2回北方型住宅賞最優秀賞「中札内の家」他



- ① 中庭の風景と光を取り込む大窓を配置、サッシは高断熱樹脂サッシ（トリプルガラス）を採用
- ② 床材は温かみのある無垢フローリングを想定
- ③ 適度に日射を遮蔽し、設備機器を目立たなくする庇と木製ルーバー
- ④ アウトドア活動や庭道具置場に適した底下のL型テラス



- ① 玄関：手摺のある広い玄関 (2)
- ② 玄関収納：ウォークイン収納 (2)
- ③ 廊下：玄関からリビングをつなぐ奥行きのある明るい廊下
- ④ 洋室1：収納スペース付き (7)
- ⑤ 洋室2：2分割利用も可能 (8)
- ⑥ トイレ：引戸、手すり付き
- ⑦ リビング収納
- ⑧ リビングダイニング：明るく開放感のあるLDK (24畳)
- ⑨ キッチン：適度に手元が隠れる対面型。菜園へのドアを近くに配置
- ⑩ パントリー：コンパクトな家に必須な大きなパントリー (2)
- ⑪ 洗面所
- ⑫ 洗濯脱衣室：物干テラスへつながる明るい洗濯脱衣室。ガス衣類乾燥機の設置も可能
- ⑬ 浴室：開き戸、手すり付き
- ⑭ カーポート：まちなみに配慮した一体型のカーポートとアプローチ
- ⑮ テラス：アウトドアや庭道具置場に適した底下の27m L型テラス
- ⑯ 屋外物置：バーベキューや休憩に適した分棟型の屋外物置とウッドデッキ（ガレージへの変更もオプション工事にて対応可能）
- ⑰ 中庭：ガーデンや菜園として活用できる中庭、2台目駐車スペースとしても利用可能

- ① 塩ビシート防水による無落雪屋根
- ② 交換やメンテナンスし易いよう建物から独立した壁面太陽パネル、電気の需要時間を考慮し南東・南西面に分割して設置
- ③ 省エネで快適なパッシブ換気システム（換気扇併用）の採用
- ④ 通風に有効な分散配置の小窓
- ⑤ マイルドな温熱環境を実現する床下換気暖房方式
- ⑥ 耐久性・耐候性を重視したガルバリウム鋼板（SGL鋼板）の採用
- ⑦ 中庭に優しい印象を生み出す深い軒下と道産木材による板張り外壁



1メートル断熱の採用
(屋根400mm+壁300mm+基礎300mm)

立断面図

脱炭素化対策

住宅の基本性能（断熱・気密・耐震・耐久・更新）の向上と、シンプルで汎用性の高い機器の選定、維持管理し易く、更新や交換し易い工法やデザインを心がけることで、楽しく住み続けながら脱炭素をはかれる住宅です。北方型住宅 ZERO ポイント 20 点の取得を目指します。

敷地面積：A:636㎡ / B:437㎡
 建築面積：139.95㎡
 延床面積：115.93㎡
 構造階数：在来木造平屋建て
 耐震性能：耐震等級 2

断熱性能：UA 値=0.25
 気密性能：C 値=1.0 以下
 熱源方式：ガスボイラー
 換気方式：パッシブ換気
 太陽光発電：2.0Kw（壁面）

ひだまりの家

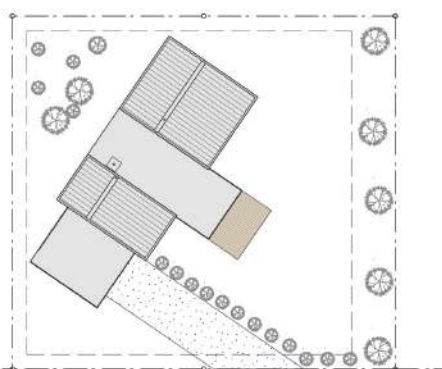
太陽の恵みを最大限受け取る住まい



Point

- ① 一日中自然光が差し込み、景色を楽しめる快適な住宅
- ② バタフライ屋根の形を生かした、明るく開放的な洋室
- ③ 家族の成長に合わせて利用できる自由なプランニング

南幌町に広がる自然豊かで広々とした土地に、一日中自然光がふりそそぎ屋外の景色と生活を楽しめる心地よい住宅を計画しました。建物の正面を真南に向け、太陽光のエネルギーを最大限享受できるように計画しています。外観は積雪寒冷地北海道に根付く特徴的なスノーダクト方式（バタフライ屋根）とし、室内天井にもその形状を反映することでハイサイドライトを中心とした明るく開放的な洋室を計画しています。リビング・ダイニング・キッチンが平天井とし、風が抜ける心地よい居場所を計画しました。南庭や地域との繋がりを感じられる場所として計画しています。また、玄関側に洋室を配置することで、介護ルームとしての利用等、家族の成長・変化に合わせて利用できる自由なプランニングとしています。



Aブロック配置図

0 1 2 5m

施工

山忠高島建設（株）

将来に渡り快適な住空間を持続するために、施工には高度な知識と技術が必要です。「やまぢゅうの家」は専属大工が妥協のない家づくりを実現します。

特定建設業許可／北海道知事許可（特-2）石第 02859 号
北海道札幌市豊平区月寒西 3 条 9 丁目 1-4
TEL：011-851-0118・FAX：011-853-2571

設計

ナカノ設計店

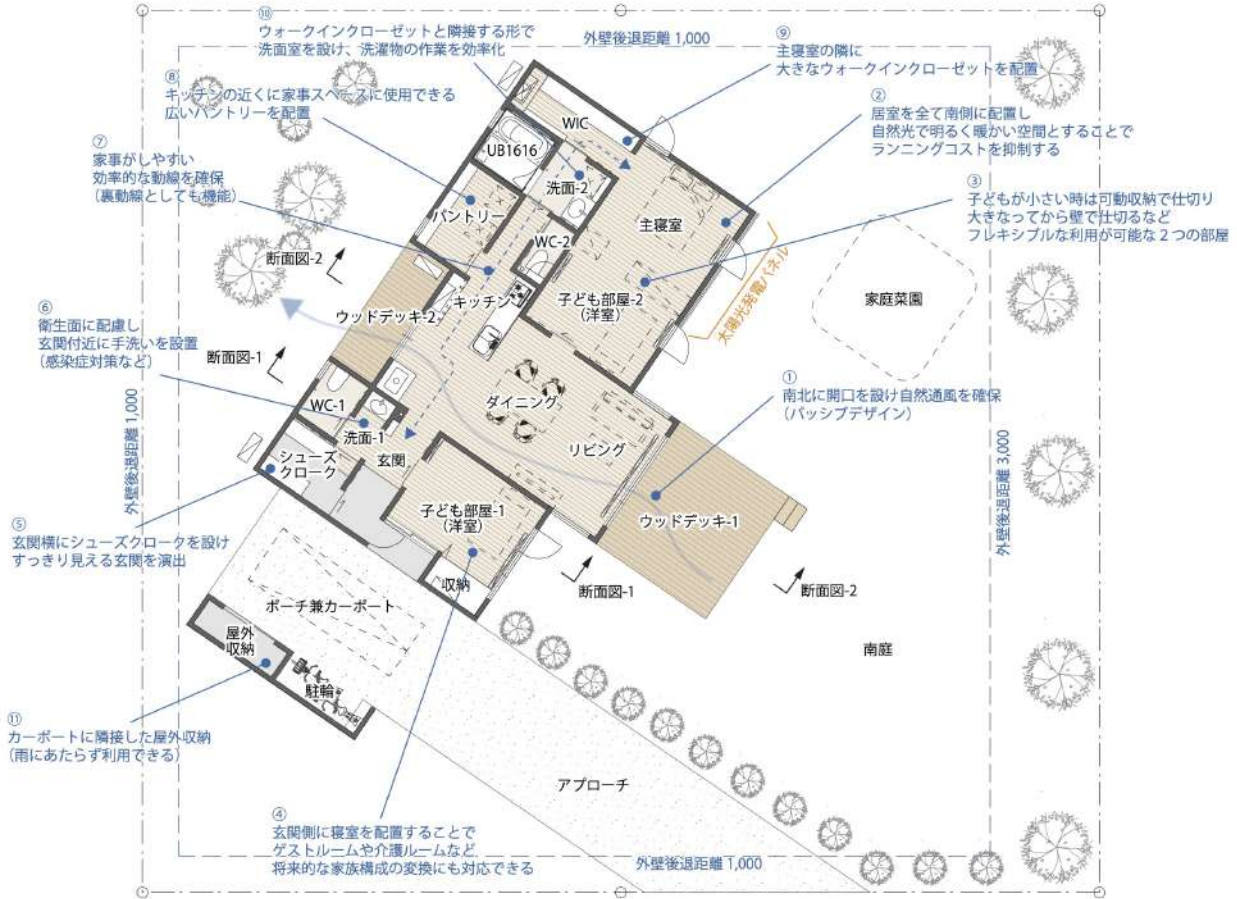
ただモノを売るだけでなく、下町の商店のようにお客様の生活の質を高めるコミュニケーションを重視し、人や街が楽しくなるような居場所となる設計事務所を目指しています。

一級建築士事務所登録 北海道（石）6712 号
北海道札幌市中央区北 2 条西 20 丁目 1-12 佐々木ビル 1F
TEL：011-795-6138・MAIL：nakano.sekkei.ten@gmail.com

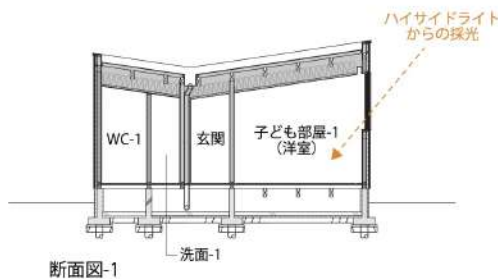


南立面図

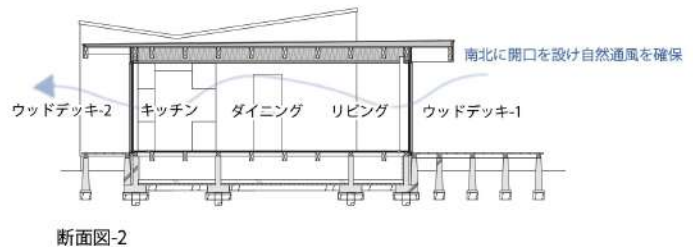
西立面図



配置平面図



断面図-1



断面図-2

脱炭素化対策

建物の配置そのものを真南に向け、壁面設置の太陽光発電パネルから得られるエネルギーを余すことなく享受出来る計画としています。建物としての外皮平均熱貫流率 UA 値は 0.28 [W/(m²・K)] 以下とし、冬季の快適な室内温度を担保します。給湯冷暖房は計画地が集中プロパンガスが供

給されていることから、高効率給湯暖房ガスボイラーエコジョーズの設置を想定し、快適な生活環境を担保すると同時にインシャルコスト・ランニングコストを抑える計画としています。
(北方型住宅 ZERO 合計ポイント数 10pt 図面に記載)

南幌ネイチャーベースⅠ

南幌の自然の恵みをキャッチする住宅



Point

- ① 前面の通りに正対し、エコな街並みをつくる配置計画
- ② 東西面をカットし、様々な外部空間をつくる平面形状
- ③ 様々な環境装置をボーダー状にデザインした外観計画

南幌ネイチャーベースⅠはAブロックの広い敷地に平屋建ての住宅を想定しています。前面道路に正対するように建物ボリュームを配置し、東西面が正対するようにボリュームをカットします。そうすることで北面を減らし、東西面を増やすことで環境負荷を低減しつつ、太陽光パネルを安定的に発電させます。また、そのカットによってできた外部空間は駐車場・エントランスや道路からの視線を気にしないプライベートな庭となります。外観は太陽光パネル・窓・北海道産木材壁・壁面緑化をボーダー状にデザインし、環境装置がバラバラに見えないよう統一させます。内部は極力間仕切りをなくし、水回りを中心に回遊できるプランとします。プランと外部空間がリンクする計画で内部の活動が外部へも溢れ出し、南幌町へも広がる住宅とします。

施工

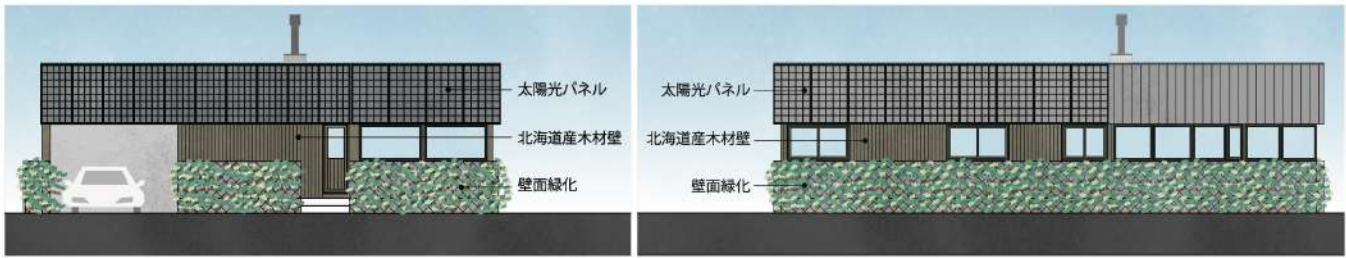
丸作吉田建産株式会社

創業53年あらゆる住宅を造ってきました。軸組工法、ツーバイフォー工法、CB造、RC造オールマイティーに施工できます。性能とデザインにこだわった住宅づくりをモットーとしています。シックハウスに対しては、部の素材は極力天然素材を使います。★★★★が絶対安全とは考えてはおりません。自然素材が内部の空気環境を良くしてくれます。

設計

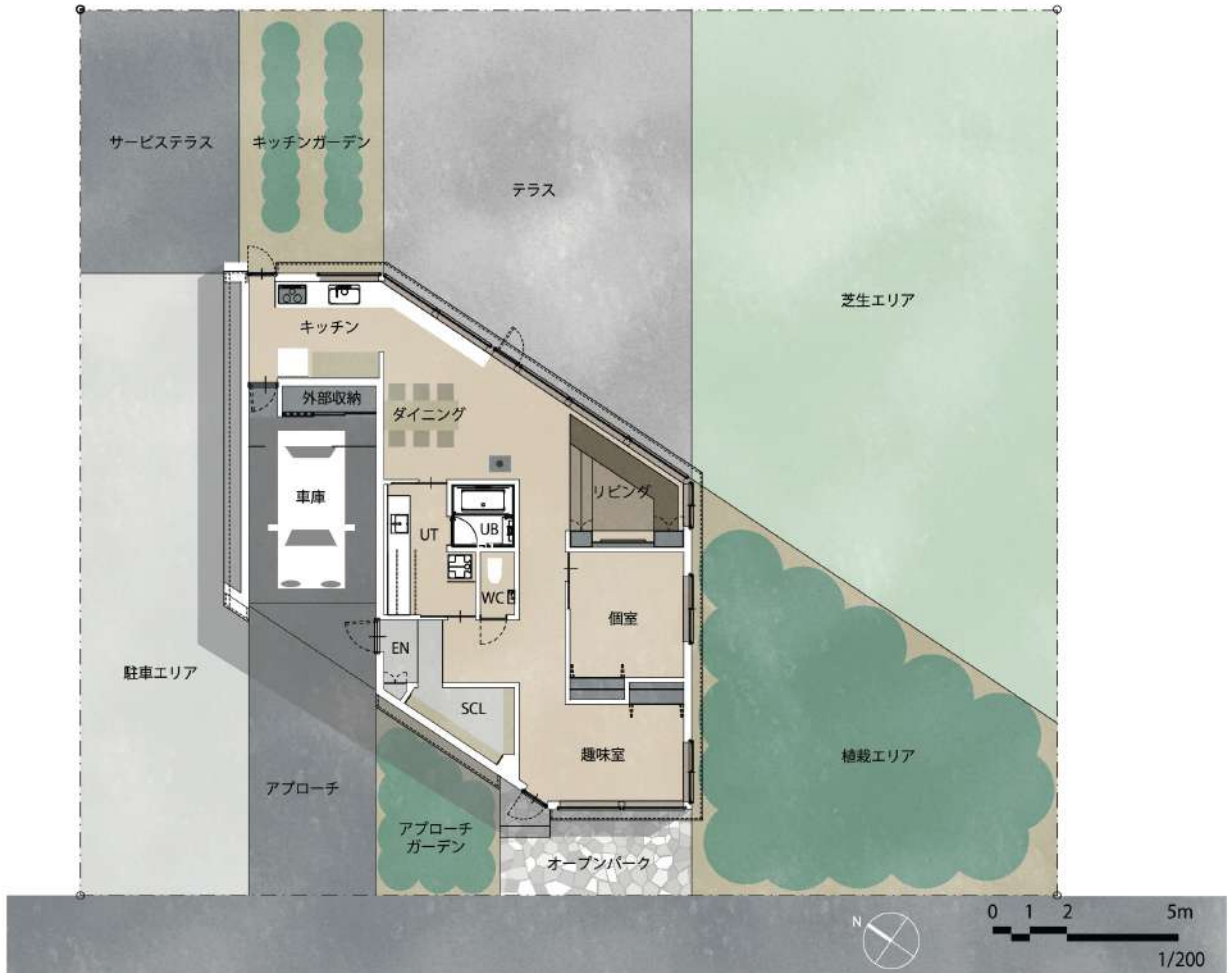
株式会社米花建築製作所

夫婦で設計事務所を営んでいます。その土地の環境・風土・歴史をベースにライフスタイルに合わせた省エネで快適な住宅を提案します。南幌町の春夏秋冬すべてを楽しめる住宅を目指します。内部と外部がリンクする住宅がライフスタイルを街へと波及していきます。そこにしかない贅沢な住宅を一緒につくりましょう！！

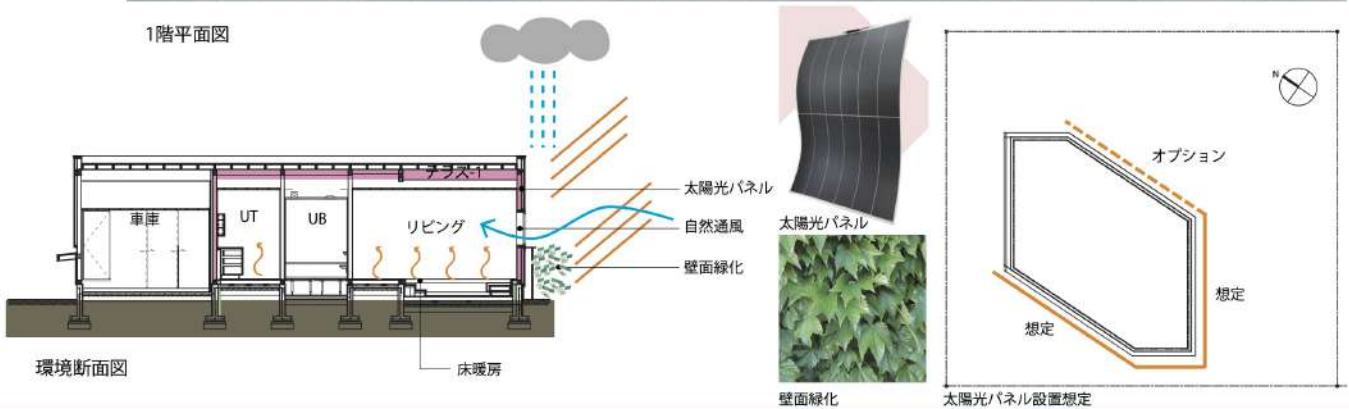


南立面図

西立面図



1階平面図



環境断面図

脱炭素化対策

脱炭素対策の柱としては壁面太陽光パネルを設置します。積雪量の多い南幌町で積雪を気にせず、安定した発電をするために壁面太陽光パネルの設置が可能な外観計画とします。東西南南にも設置可能な計画とし、コストや電力量に合わせて最終的な面積を計画します。また建物への環境負荷を低減する

ため、壁面緑化の提案をします。植栽メッシュを施し直射光を最小限にし、また、雨水による「打ち水効果」も期待できます。換気は第3種換気で自然通風を大事にします。暖房は床下パイプによる床暖房で住宅全体を一定の温度とします。

北方型住宅ZEROにおけるポイント：合計18ポイント

南幌ネイチャーベースII

南幌の自然の恵みをキャッチする住宅



Point

- ① 前面の通りに正対し、エコな街並みをつくる配置計画
- ② 東西面をカットし、様々な外部空間をつくる平面形状
- ③ 様々な環境装置をボーダー状にデザインした外観計画

南幌ネイチャーベースIIはBブロックの敷地に二階建ての住宅を想定しています。前面道路に正対するように建物ボリュームを配置し、東西面が正対するようにボリュームをカットします。そうすることで北面を減らし、東西面を増やすことで環境負荷を低減しつつ、太陽光パネルを安定的に発電させます。また、そのカットによってできた外部空間は駐車場・エントランスや道路からの視線を気にしないプライベートな庭となります。外観は太陽光パネル・窓・北海道産木材壁・壁面緑化をボーダー状にデザインし、環境装置がバラバラに見えないよう統一させます。内部は極力間仕切りをなくし、水回りを中心に回遊できるプランとします。プランと外部空間がリンクする計画で内部の活動が外部へも溢れ出し、南幌町へも広がる住宅とします。

施工

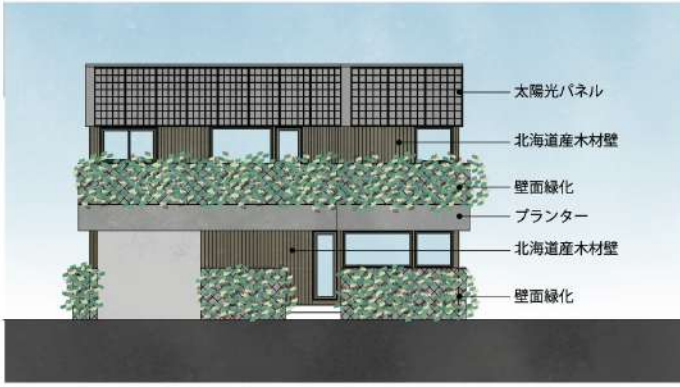
丸作吉田建産株式会社

創業53年あらゆる住宅を造ってきました。軸組工法、ツーバイフォー工法、CB造、RC造オールマイティーに施工できます。性能とデザインにこだわった住宅づくりをモットーとしています。シックハウスに対しては、部の素材は極力天然素材を使います。★★★★が絶対安全とは考えてはおりません。自然素材が内部の空気環境を良くしてくれます。

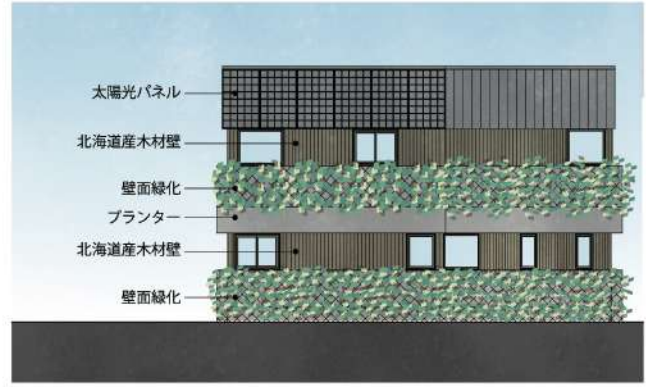
設計

株式会社米花建築製作所

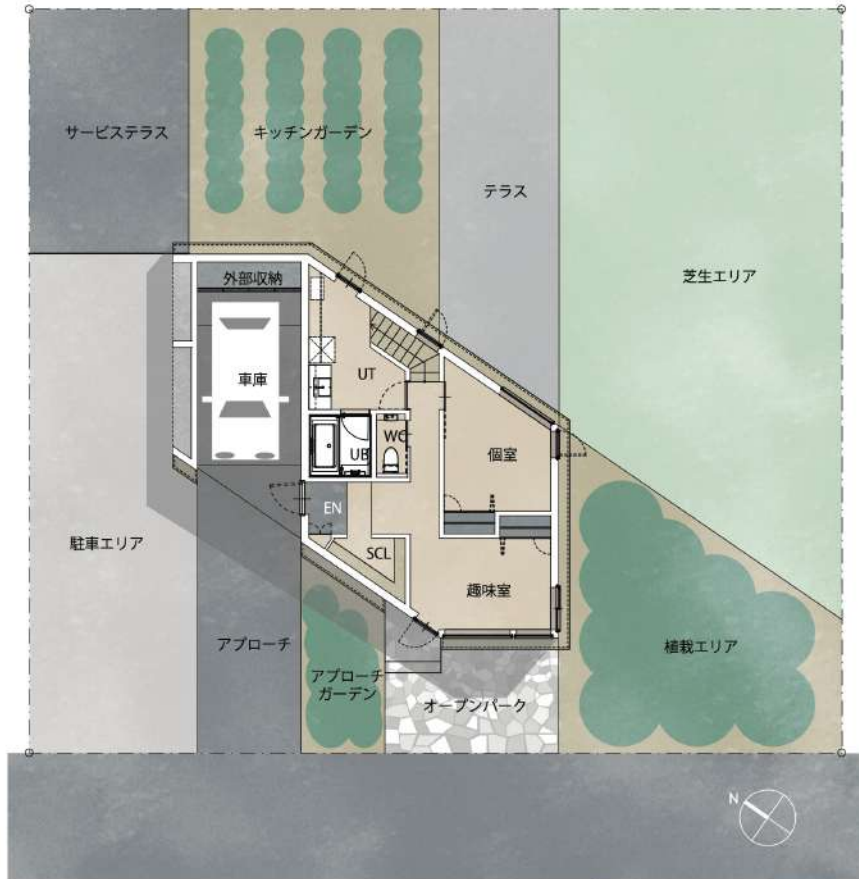
夫婦で設計事務所を営んでいます。その土地の環境・風土・歴史をベースにライフスタイルに合わせた省エネで快適な住宅を提案します。南幌町の春夏秋冬すべてを楽しめる住宅を目指します。内部と外部がリンクする住宅がライフスタイルを街へと波及していきます。そこにしかない贅沢な住宅を一緒に作りましょう！！



西立面図



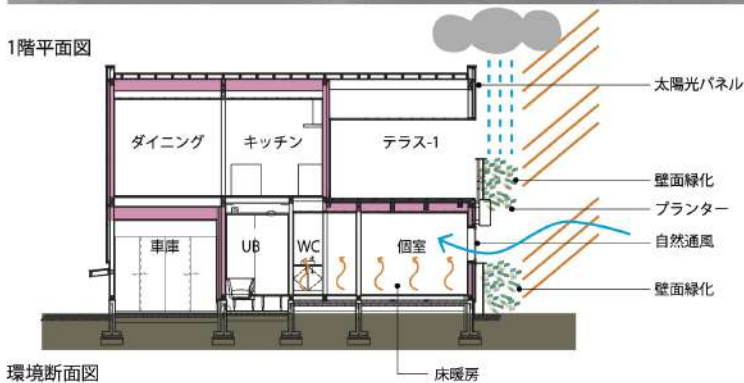
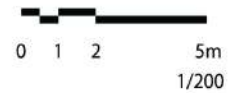
南立面図



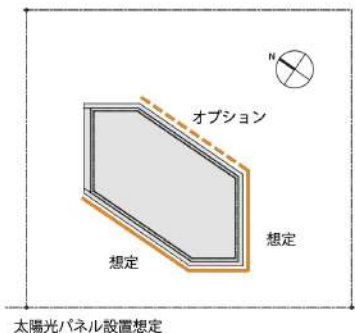
1階平面図



2階平面図



環境断面図



太陽光パネル設置想定

脱炭素化対策

脱炭素対策の柱としては壁面太陽光パネルを設置します。積雪量の多い南幌町で積雪を気にせず、安定した発電をするために壁面太陽光パネルの設置が可能な外観計画とします。東西南南にも設置可能な計画とし、コストや電力量に合わせて最終的な面積を計画します。また建物への環境負荷を低減する

ため、壁面緑化の提案をします。植栽メッシュを施し直射光を最小限にし、また、雨水による「打ち水効果」も期待できます。換気は第3種換気で自然通風を大事にします。暖房は床下パイプによる床暖房で住宅全体を一定の温度とします。

北方型住宅ZEROにおけるポイント：合計18ポイント

LINKING

— 連結 — 「建築×モビリティ」による新しい暮らし



Point

- ① 「建築×モビリティ」による新しい暮らしとつながり
- ② 外皮性能が高く、シンプルでローメンテナンスな建築
- ③ 家のまわりや隣地まで暮らしが広がっていく仕掛け

移動型居住空間（オフグリッド・トレーラー）をプラグインすることで、「建築×モビリティ」による新しい暮らしとつながりを実現する住まい。外皮性能の強化とシンプルな設備を採用したコンパクトな主屋（2LDK）によりイニシャル・ランニングコストを削減、少子化や家族構成の変化にも対応した計画です。ソーラーパネルを装備したトレーラーは拡張された居住空間となり、家族構成に合わせて3・4LDKに拡張可能。オフィスやショップとしても日常的に活用でき、防災レジリエンス性能も確保します。ソーラーパネル等は汎用品をトレーラーに設置することで、主屋のメンテナンスコスト低減を図ります。屋外に繋がる土間や、空間に広がりを与える軒下空間やテラスによって、家のまわりまで暮らしが広がっていきます。

施工

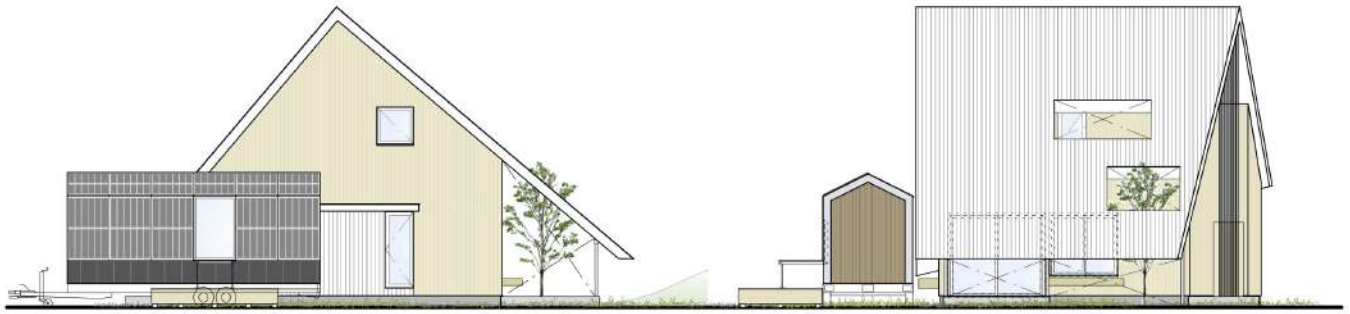
株式会社 リノア

基本的な性能だけでなく、予算を考慮しセルフビルド等を取り入れ、クライアント様の要望を最大限生かした、『個性的』そして『次世代においても斬新』な家を目指しています。居住空間で重要なのは住まい手の『体感・快適性』。その2つを心がけ、さらに省CO2に貢献する地球にも優しいローテクノロジーな家を提案いたします。

設計

合同会社 石塚和彦アトリエ

住宅に大切なことは、住み手に馴染み、その場所に馴染むこと。居心地のよい住まいの「カタチ」は、人それぞれ。生活のスタイルや場所の環境によっても変わります。あなたが感じている、ほんの小さな感覚こそが大切なのです。あなたにとってぴったりと馴染む住まいを、一緒に話し、ひとつひとつ考えながら「カタチ」にしていきます。



南側 立面図

東側 立面図

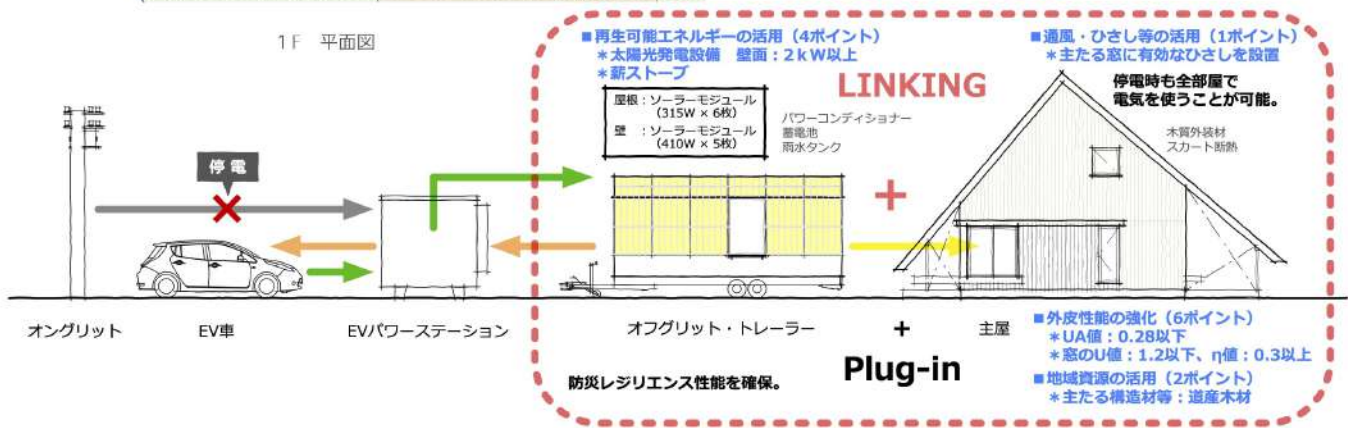


1F 平面図



2F 平面図

「モビリティ+建築」



ゼロカーボンモデル

脱炭素化対策図表

脱炭素化対策

ソーラーパネルを壁面と屋根に装備した、移動型居住空間(オフグリッド・トレーラー)を住宅にプラグインすることで、電気自動車とV2Hシステム・蓄電池・雨水タンクの導入により、環境負荷の低減と防災レジリエンス性能を確保します。外皮性能の強化により熱損失を抑え、一次エネ

ルギー消費量を削減します。軒と庇により夏場のオーバーヒートを抑制し、快適な室内環境を保ちます。また、地域資源から生産された材料(木材など)を内外装や構造材に積極的に利用します。建物の周りには「地域の庭」として緑化を行い、菜園などにも活用します。(ポイント計: 13)

LINKING

— 連結 — 「建築×モビリティ」による新しい暮らし



Point

- ① 「建築×モビリティ」による新しい暮らしとつながり
- ② 外皮性能が高く、シンプルでローメンテナンスな建築
- ③ 家のまわりや隣地まで暮らしが広がっていく仕掛け

移動型居住空間（オフグリッド・トレーラー）をプラグインすることで、「建築×モビリティ」による新しい暮らしとつながりを実現する住まい。外皮性能の強化とシンプルな設備を採用したコンパクトな主屋（2LDK）によりイニシャル・ランニングコストを削減、少子化や家族構成の変化にも対応した計画です。ソーラーパネルを装備したトレーラーは拡張された居住空間となり、家族構成に合わせて3・4LDKに拡張可能。オフィスやショップとしても日常的に活用でき、防災レジリエンス性能も確保します。ソーラーパネル等は汎用品をトレーラーに設置することで、主屋のメンテナンスコスト低減を図ります。屋外に繋がる土間や、空間に広がりを与える軒下空間やテラスによって、家のまわりまで暮らしが広がっていきます。

施工

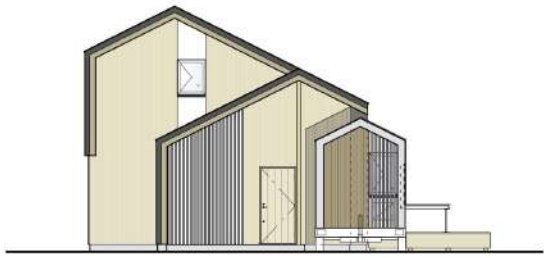
株式会社 リノア

基本的な性能だけでなく、予算を考慮しセルフビルド等を取り入れ、クライアント様の要望を最大限生かした、『個性的』そして『次世代においても斬新』な家を目指しています。居住空間で重要なのは住まい手の『体感・快適性』。その2つを心がけ、さらに省CO2に貢献する地球にも優しいローテクノロジーな家を提案いたします。

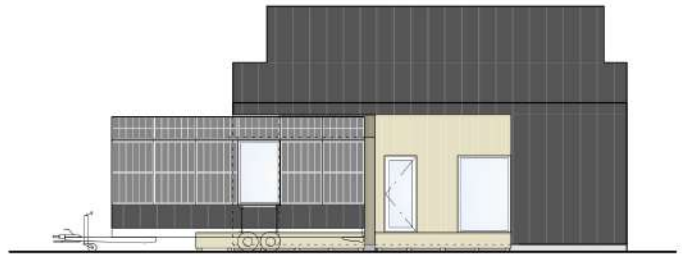
設計

合同会社 石塚和彦アトリエ

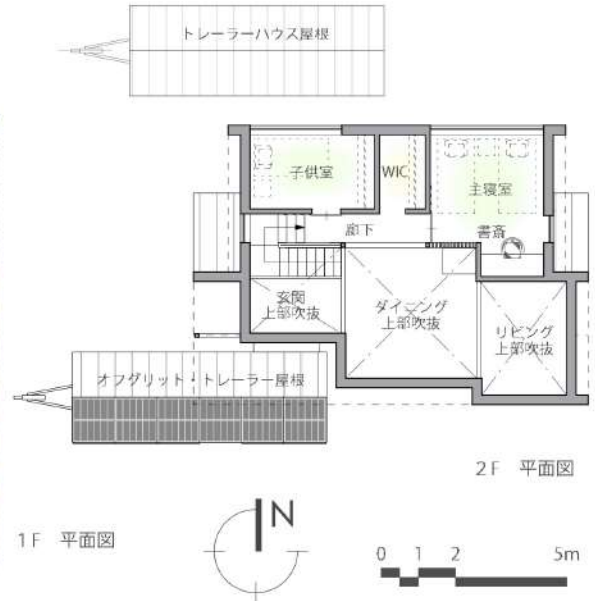
住宅に大切なことは、住み手に馴染み、その場所に馴染むこと。居心地のよい住まいの「カタチ」は、人それぞれ。生活のスタイルや場所の環境によっても変わります。あなたが感じている、ほんの小さな感覚こそが大切なのです。あなたにとってぴったりと馴染む住まいを、一緒に話し、ひとつひとつ考えながら「カタチ」にしていきます。



西側 立面図

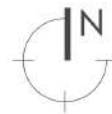


南側 立面図

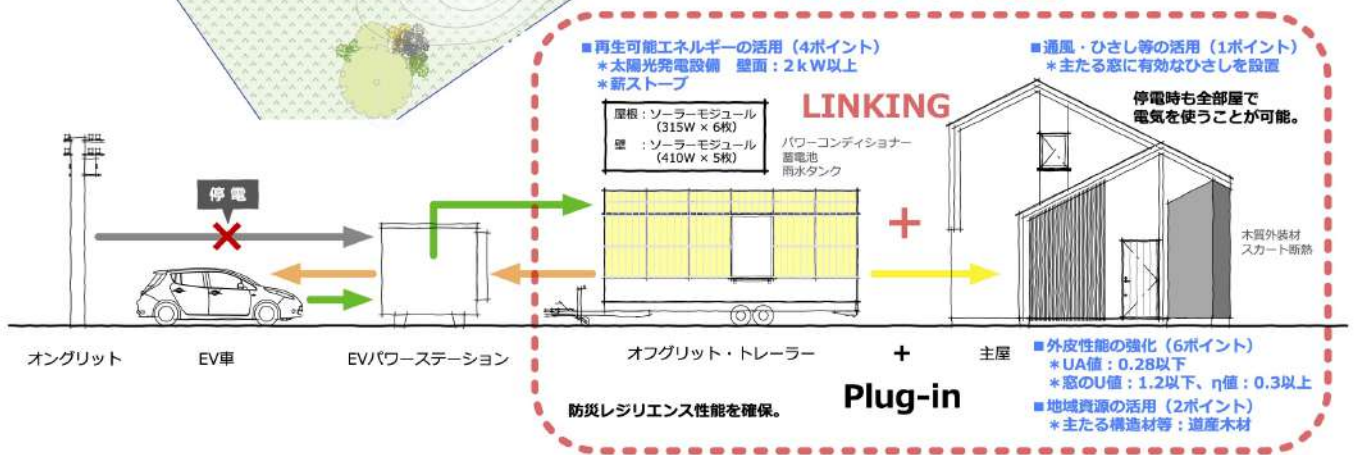


1F 平面図

2F 平面図



「モビリティ+建築」



ゼロカーボンモデル

脱炭素化対策図表

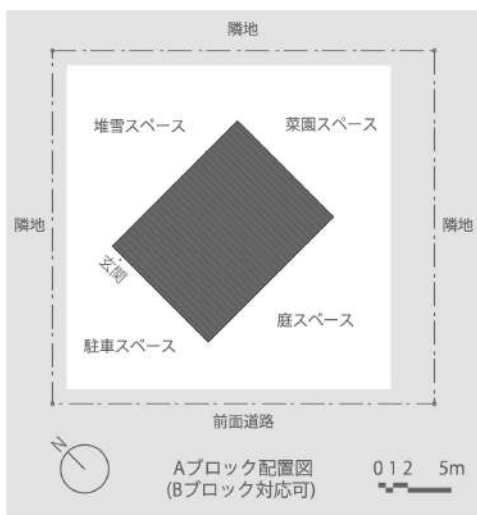
脱炭素化対策

ソーラーパネルを壁面と屋根に装備した、移動型居住空間(オフグリッド・トレーラー)を住宅にプラグインすることで、電気自動車とV2Hシステム・蓄電池・雨水タンクの導入により、環境負荷の低減と防災レジリエンス性能を確保します。外皮性能の強化により熱損失を抑え、一次エネ

ルギー消費量を削減します。軒と庇により夏場のオーバーヒートを抑制し、快適な室内環境を保ちます。また、地域資源から生産された材料(木材など)を内外装や構造材に積極的に利用します。建物の周りには「地域の庭」として緑化を行い、菜園などにも活用します。(ポイント計: 13)

3つの家と余白の間と

住人の個性を引き立てる家



Point

- ① 庭に面した大開口と大きな棚を設けた趣味の空間
- ② ロフトを備えた2つの小さな子供の家
- ③ 部屋に囲まれプライバシーを確保したみんなの家

南幌の豊かな大地の中、自然の恵みを最大限享受した環境で住人の個性を引き立てる家を計画しました。

ロフト付きの2つの子供の家とLDKによるみんなの家、そこに囲まれるように余白の間を設けました。余白の間は大開口による縁側のような空間で、趣味を楽しむ場として大きな棚を備えました。窓から差し込む光と風が、季節の移ろいを感じさせてくれます。みんなの家は家の中心にあり、部屋に囲まれているためプライバシーを確保したゆったりとした空間となっています。

小さく暮らし、大きく遊ぶ。平屋の中に自然と調和した暮らしを叶える理想の住まいです。

施工

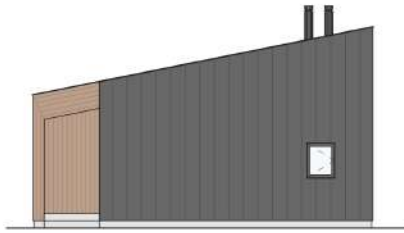
株式会社 奥野工務店

創業 1968 年 代表取締役社長 狩野 泰孝
《各種許可及び登録》建設業許可知事(般-2)石第03979号/
1級建築士事務所知事(石)第1950号/宅地建物取引業知事石狩(6)第6153号
《加盟団体》財団法人住宅保証協会 / 株式会社日本住宅保証検査機構 / ソトダン21の会 / パッシブシステム研究会

設計

山下竜二建築設計事務所

山下 竜二：1988 年北海道山ノ国町生まれ。2013 年北海道工業大学大学院を修了後、建築設計アトリエ事務所の勤務を経て2016年 山下竜二建築設計事務所を設立。
(仮称)松原ビルプロポーザルコンペ最優秀賞、A' Design Award and Competitions Bronze Prize などの受賞歴がある。
一級建築士事務所 北海道知事登録(渡)第661号



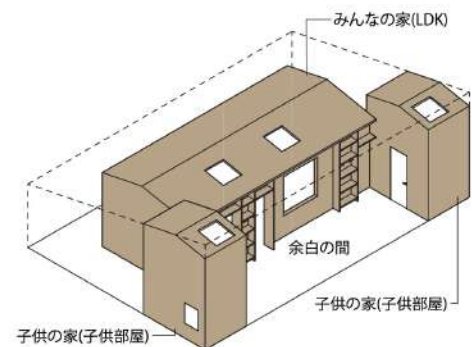
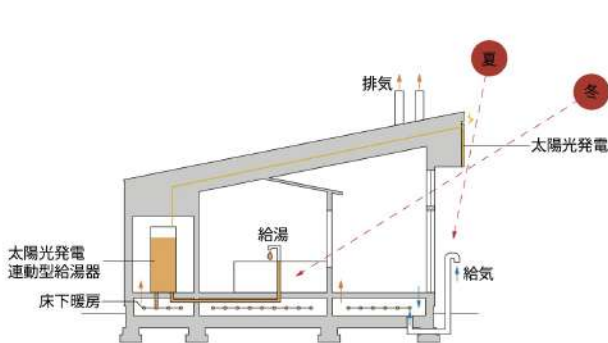
西立面図



南立面図



平面図



脱炭素化対策

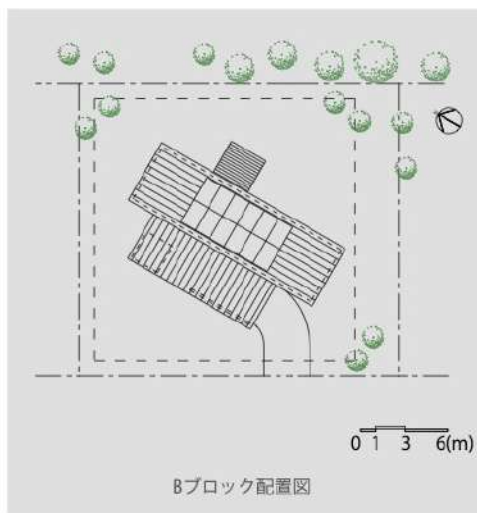
- ・外皮平均熱貫流率 UA 値を 0.28 [W/(m²·K)] 以下 (3P)
- ・窓の熱貫流率を 1.2 [W/(m²·K)] 以下とし、かつ日射熱取得率 η を 0.3 以上とする (3P)
- ・パッシブ換気システムを採用する (1P)
- ・太陽光発電設備を壁面のみに 2kW 以上を設置する (3P)

- ・太陽光発電設備に加え時間帯選択式 HP 給湯器を採用する (5P)

北方型住宅 ZERO：合計 15 ポイントを取得予定
高断熱、高气密、省エネの暖かい家を実現します。

Linear Zero Carbon House

南北軸に奥行のある住まい



Point

- ① 南北軸に長い広がりを感じる空間
- ② 土間から東側の緑地帯とつながる開かれた空間
- ③ 東西面に太陽光パネルを設置し、ゼロカーボン化

南幌町の「みどり野ゼロカーボンヴィレッジ」に建つ、コンパクトな住宅です。建物を方位に沿って、南北軸に長く計画し、東西の外壁面を長く取することで、壁面に太陽光パネルを多く設置できる形状としています。

玄関土間は、テラス・東側の緑地帯とシームレスに連続し、外部空間に開かれた心地よい空間となり、エントランスとしての用途だけではなく、多目的な利用が可能です。細長い形状は、空間に奥行と広がりをもたらし、吹抜を介して、2階も含めた大きなワンルーム空間として機能します。

構造は枠組壁工法とし、外装材に加えて、構造材にも道南杉を用いることで、脱炭素化を図っています。これからの住宅にふさわしい新たなゼロカーボン住宅の提案です。

施工

(株)キクザワ

住まいはお客様と共に創り上げるもの」を社是とし、お客様に合わせた世界に一枚の住まいを提案する恵庭市の工務店です。高気密高断熱、暖かくてほっとする。無垢材のぬくもりにリラックスしてほっとする。構造と自社大工施工の安心感でほっとする…三つの『ほっ』とできる家づくりを大切にしています。

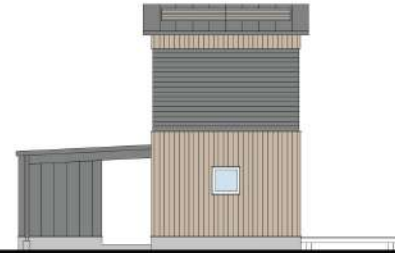
設計

弘田亨一設計事務所

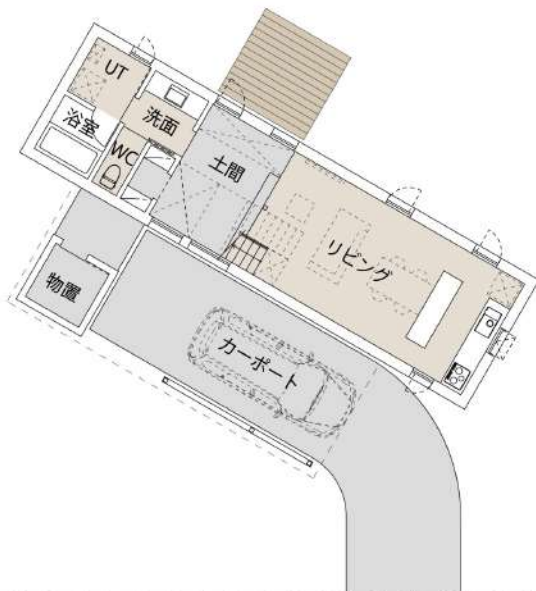
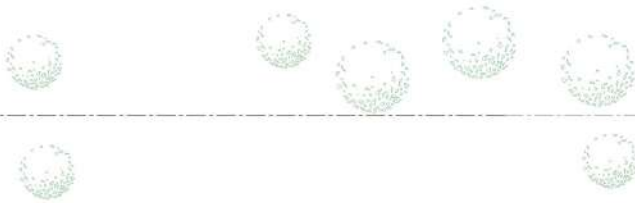
建築は、気候条件や周辺環境、クライアントの思想など、様々な条件が重なり合い構成されていきます。それらの条件を、紐解いていきながら生まれる建築空間が、必然性を備えたものであることが重要だと考えます。ディスカッションを重ね、唯一の建築空間をクライアントと共有し、作り上げていきたいと考えています。



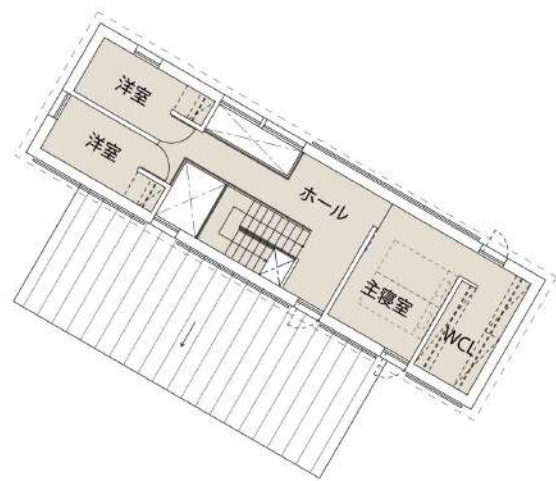
西立面図



南立面図



1階平面図



2階平面図

0 1 2 5m



脱炭素化対策

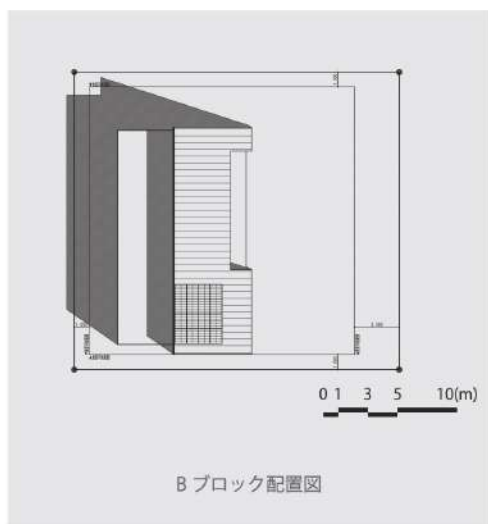
脱炭素化対策として、以下①～⑤(合計 16Pt) を行う。

- ①外皮性能の強化 UA 値 $0.28(\text{W}/\text{m}^2 \cdot \text{K})$ 以下<3Pt>
- ②太陽光発電設備を屋根面と壁面に合計 $445\text{W}/\text{枚} \times 30\text{枚}$ 設置 (合計 13.35kW)<6Pt>

- ③太陽光発電設備に加え蓄電池 (7.04kWh) を設置<5Pt>
- ④枠組壁工法とし、主たる構造材に道南杉を使用<2Pt>

大きなタープに覆われた家

ソーラーウォールで半屋外を楽しむ家



Point

- ① 積雪地域向けの「タープ」急傾斜壁面太陽光パネル
- ② タープと建築本体の間に生まれる豊かな中間領域
- ③ 前面道路と北側緑道を行き来できる敷地内の通り抜け

積雪寒冷地において、今後益々高騰するエネルギー価格に向き合いながら、暮らしを精一杯楽しめるソーラーハウスの提案です。太陽光パネルは従来の屋根面設置から積雪の心配の少ない壁面型設置を可能とする「タープ」へ。それは積雪寒冷地に相応しい太陽光パネルの手法と同時に楽しく屋内から屋外へシームレスに遊べる場所でもあります。最終的には全てのエネルギーを自家発電で賄えることが目標ですが、それを可能とするにはもう少し時間が必要です。タープによる日射取得と日射遮蔽、ボイラーを時代に応じて交換しやすく作り、例えば、灯油 / 現在⇒ガス&電気ハイブリット / 近未来⇒電気（但し再生可能な） / 未来と洗濯できる余地を残しました。未来の理想を明確にしつつその発展過程を柔軟に対応できる提案です。

施工

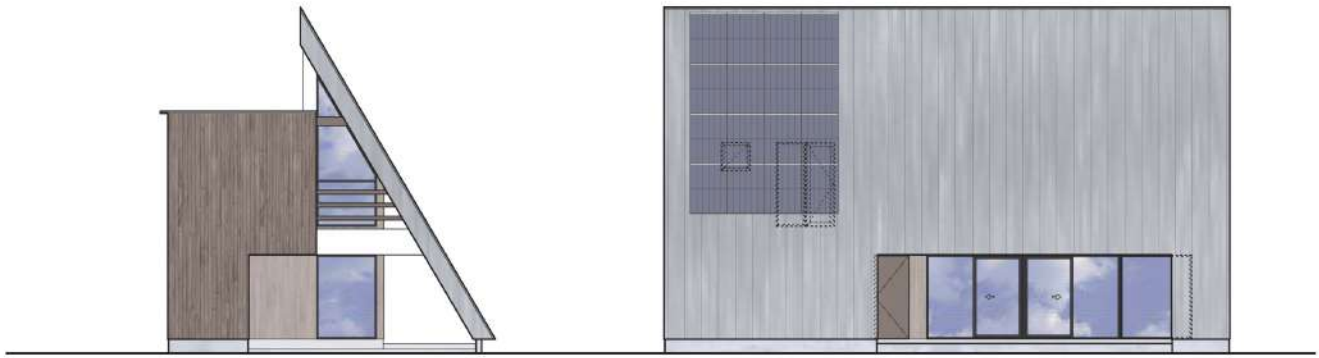
Team KAPS 紺野建設株式会社

十勝の清水町に本社を、札幌に支店をかまえる工務店。「ちきゅう思いの家」「ちゃんとつくる まじめにつくる」をモットーに環境にやさしく、そして妥協のないモノづくりをしています。高断熱・高气密のノウハウはもちろん、建築家とのコラボレーションの経験も豊富で、難しい案件でもひるまず立ち向かうことができます。

設計

Team KAPS (株)山本亜耕建築設計事務所

私達は北海道に相応しい建築を目指しています。60℃を超える寒暖差。その特殊さ故に住まい方や建物の造りは、特に工夫が必用とされ60年に渡り研究が続けられてきました。私たちはそうした地域の伝統を引き継ぎ、北海道のみならずこれからの社会に必要な建築の在り方を考えたものづくりを提案します。



-南西立面図-

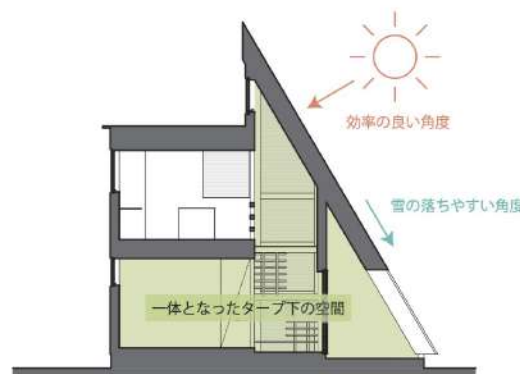
-南東立面図-



-1F平面図-



-2F平面図-



-断面図-

0 2 5 10 20(m)

脱炭素化対策

外皮平均熱還流率UA値を $0.28[W/(m^2 \cdot K)]$ 以下とし(3point)、太陽光パネルを $2kW \sim 6kW$ と選択できるシステムとしています(3point以上)。南幌の涼やかな気候は発電効率を上げ有利な状況です。夜間の電力は蓄電池を利用します(5point)。このシステムの特徴は普段は節電のための自己消費を担い、

停電時は独立した電力供給を可能とします。太陽光パネルを載せる「タープ」は採光面の有効な庇として働きます(1point)。室内でのタープ空間は吹抜として重力換気を容易にするため、パッシブ換気システムを採用しています(1point、計13point以上)。